

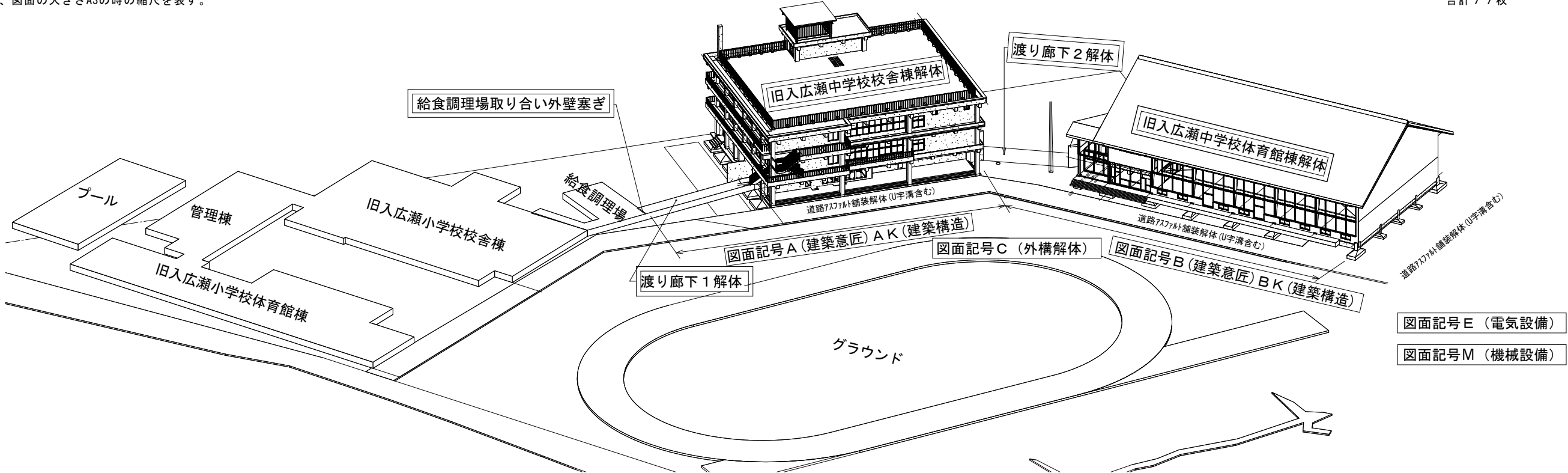
令7現単学工－50号

旧入広瀬中学校等解体撤去工事

| 図面番号 | 図面名称 | 縮尺 | 図面番号 | 図面名称 | 縮尺 | 図面番号 | 図面名称 | 縮尺 | 図面番号 | 図面名称 | 縮尺 | 図面番号 | 図面名称 | 縮尺 |
|-------|-------------------------|----------|-------|----------------------------|---------|-------|------------------------|---------|-------|--------------------|---------|------|-----------------|---------|
| 共通-01 | 特記仕様書（そのⅠ） | FREE | A-15 | 3階展開図(3) (校舎棟) | S=1:100 | B-01 | 仕上表(体育館棟) | FREE | BK-06 | 部材リスト(体育館棟) | S=1:60 | E-01 | 校舎棟1階電気設備図 | S=1:200 |
| 共通-02 | 特記仕様書（そのⅡ） | FREE | A-16 | 階段室展開図(1) (校舎棟) | S=1:100 | B-02 | 1階、2階平面図(体育館棟) | S=1:300 | BK-07 | 鉄骨詳細図1(体育館棟) | S=1:60 | E-02 | 校舎棟2階電気設備図 | S=1:200 |
| 共通-03 | 付近見取図・配置図・面積表 | S=1:1000 | A-17 | 階段室展開図(2) (校舎棟) | S=1:100 | B-03 | 屋根伏図(体育館棟) | S=1:300 | BK-08 | 鉄骨詳細図2(体育館棟) | S=1:60 | E-03 | 校舎棟3階電気設備図 | S=1:200 |
| A-01 | 仕上表(校舎棟) | FREE | A-18 | 1階、2階キープラン(校舎棟) | S=1:200 | B-04 | 立面図(体育館棟) | S=1:300 | | | | E-04 | 校舎棟塔屋・渡り廊下電気設備図 | S=1:200 |
| A-02 | 1階・2階平面図(校舎棟) | S=1:200 | A-19 | 3階、PH階及び屋上階 キープラン(校舎棟) | S=1:200 | B-05 | 矩計図(校舎棟) | S=1:60 | C-01 | 外構撤去範囲図 | S=1:600 | E-05 | 体育館棟1・2階電気設備図 | S=1:300 |
| A-03 | 3階・ベントハウス 屋上平面図(校舎棟) | S=1:200 | A-20 | 建具表1(校舎棟) | S=1:100 | B-06 | 1階、2階床伏図(体育館棟) | S=1:300 | | | | | | |
| A-04 | 立面図(校舎棟) | S=1:200 | A-21 | 建具表2(校舎棟) | S=1:100 | B-07 | 1階、2階天井伏図(体育館棟) | S=1:300 | 仮設-01 | 総合仮設計画図(案) | S=1:800 | | | |
| A-05 | 矩計図(校舎棟) | S=1:60 | | | | B-08 | 展開図1(体育館棟) | S=1:200 | 仮設-02 | 仮設平面図 | S=1:200 | M-01 | 校舎棟1階器具撤去図 | S=1:200 |
| A-06 | 1階展開図(1) (校舎棟) | S=1:100 | AK-01 | 基礎伏図・1階柱2階床伏図(校舎棟) | S=1:200 | B-09 | 展開図2(体育館棟) | S=1:200 | 仮設-03 | 1階・2階外部足場 平面図(校舎棟) | S=1:200 | M-02 | 校舎棟1階配管撤去図 | S=1:200 |
| A-07 | 1階展開図(2) (校舎棟) | S=1:100 | AK-02 | 2階柱3階床伏図 ・3階柱R階床伏図(校舎棟) | S=1:200 | B-10 | 1階、2階キープラン(体育館棟) | S=1:300 | 仮設-04 | 3階・R階外部足場 平面図(校舎棟) | S=1:200 | M-03 | 校舎棟2階器具撤去図 | S=1:200 |
| A-08 | 1階展開図(3) (校舎棟) | S=1:100 | AK-03 | R階柱PH階床伏図 ・水槽上屋伏図(校舎棟) | S=1:200 | B-11 | 建具表(体育館棟) | S=1:100 | 仮設-05 | 外部足場立面図(校舎棟) | S=1:200 | M-04 | 校舎棟2階配管撤去図 | S=1:200 |
| A-09 | 2階展開図(1) (校舎棟) | S=1:100 | AK-04 | 軸組図1(校舎棟) | S=1:200 | | | | 仮設-06 | 1階・2階平面図(体育館棟) | S=1:300 | M-05 | 校舎棟3階器具撤去図 | S=1:200 |
| A-10 | 2階展開図(2) (校舎棟) | S=1:100 | AK-05 | 軸組図2(校舎棟) | S=1:200 | BK-01 | 基礎伏図・M2階梁伏図 (体育館棟) | S=1:300 | 仮設-07 | 外部足場立面図(体育館棟) | S=1:300 | M-06 | 校舎棟3階配管撤去図 | S=1:200 |
| A-11 | 2階展開図(3) (校舎棟) | S=1:100 | AK-06 | 軸組図3(校舎棟) | S=1:200 | BK-02 | 生研トラス伏図・小屋伏図 (体育館棟) | S=1:300 | 仮設-08 | 外部足場詳細図 | S=1:60 | M-07 | 校舎棟ベントハウス器具撤去図 | S=1:200 |
| A-12 | 2階展開図(4) (校舎棟) | S=1:100 | AK-07 | 柱断面リスト(校舎棟) | S=1:60 | BK-03 | 軸組図1(体育館棟) | S=1:300 | | | | M-08 | 校舎棟ベントハウス配管撤去図 | S=1:200 |
| A-13 | 3階展開図(1) (校舎棟) | S=1:100 | AK-08 | 梁断面リスト1(校舎棟) | S=1:60 | BK-04 | 軸組図2(体育館棟) | S=1:300 | | | | M-09 | 体育館棟器具撤去図 | S=1:300 |
| A-14 | 3階展開図(2) (校舎棟) | S=1:100 | AK-09 | 梁断面リスト2(校舎棟) | S=1:60 | BK-05 | 基礎、壁詳細図(体育館棟) | S=1:60 | | | | M-10 | 体育館棟配管撤去図 | S=1:300 |

※縮尺は、図面の大きさA3の時の縮尺を表す。

合計 77 枚



旧入広瀬中学校等解体撤去工事設計図

魚沼市教育委員会事務局学校教育課
令和 7 年 1 1 月（全 5 0 枚）

建物概要

| | | | |
|--------|--|--|-----------------------------|
| 工事場所 | 魚沼市六沢271番地1 | | |
| 敷地面積 | ≒5,068 m ² | | |
| 用途 | 学校・体育館(中学校) | | |
| 構造・階数 | 校舎棟 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造3階建て | 体育館棟 鉄骨造2階建て | 渡り廊下 C8造平屋建て |
| 建築面積 | 校舎棟 791.84㎡ (渡り廊下を含む) | 延べ面積 校舎棟 2,319.34 体育館棟 1,094.87㎡ (渡り廊下を含む) | 体育館棟 1,286.87㎡ (渡り廊下を含む) |
| 区域区分 | 区域区分未設定都市計画区域 | 用途地域 | 指定なし |
| 防火地域 | 指定なし | | |
| その他の区域 | 騒音規制法による規制 ※あり（第 号区域） 振動規制法による規制 ※あり（第 号区域） 砂防指定地内 ・あり 地すべり防止区域 ・あり | | |

※建物の棟別の詳細は、設計図を参照。

施工条件

| 項目 | 適用・条件等 |
|-----------|--|
| 1 作業時間等 | ※指定あり ・指定なし (ありの場合の条件) ・騒音、振動規制法による作業禁止日、時間帯（特定建設作業に限る。） ・夜間作業 ※行わない |
| 2 駐車場その他 | 工車用車両の駐車場 ○場内（任意） ・図示 資機材の置場所 ○場内（任意） ・図示 |
| 3 着手前対応 | ※工事に先立ち、周辺住民に対して工事説明を行なう。（発注者同席予定） (説明会予定時期 ・令和 年 月頃 ・実施時期未定） ※建築物除却届 ※必要（施工者作成とする。） |
| 4 その他施工条件 | (↓は参考記載のため、各工事条件に併せて記述を変える。) ・本施設の内では、車両通行に制限があるため、場内の規則にしたがって通行すること。通行にあたり、施設管理者と協議が必要。 ○本工事範囲は基礎部分は残置とし、基本G1-300までとする。（詳細は図示。） 民地に係る部分は、全面撤去とする。 ・工事時期と同時に、備品等の撤去作業を別途予定している。 解体工事にあたり、備品撤去作業の受注者と十分な調整を行うこと。 |

仕様書

Ⅰ 共通仕様

1. 本共通仕様及び特記仕様に記載されていない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部制定 建築物解体工事共通仕様書 令和4年版」（以下「解体共仕」という。）により、解体共仕に記載されていない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版」（以下「標仕」という。）による。

2. 解体共仕に用いられている用語を、次のとおり読み替える。
(1) 「工事請負契約書」を「新潟県財務規則(昭和57年3月1日新潟県規則第10号)別記(第70条関係) 魚沼市財務規則 建設工事請負基準約款」（以下「約款」という。）に読み替える。
(2) 「監督職員」を「監督員」に読み替える。
(3) 「特記仕様書」を「特記仕様」に読み替える。

~~3. 次の各号に該当する解体共仕の項目について、解体共仕の規定を別表に置き換えて適用する。~~
~~(1) 1章 各章共通事項 1節 共通事項 1.1.2 用語の定義の(7)・(9)・(10)及び(11)~~
~~(2) 1.7.1 工事検査の(2)及び(6)~~

~~4. 解体共仕の次の項目の規定は適用しない。~~
~~1章 1.1.2 用語の定義の(11)~~
~~1.7.2 技術検査~~

別表（建築工事）

| 号 | 項目 | 置き換え後の解体共仕の規定 |
|-----|----------------------|---|
| | 1章 各章共通事項 1節 共通事項 | |
| (1) | 1.1.2 用語の定義 | (7)「監督員」とは、約款第10条の規定に基づき受注者に通知された者をいう。 (9)「書面」とは発行年月日及び氏名が記載された文書又は新潟県CALSシステム上で電子決裁処理された電磁的記録をいう。 |

Ⅱ 特記仕様

1. 項目は、番号に ○印の付いたものを適用する。
2. 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と※印の付いた場合は、共に適用する。
3. 特記事項に記載の() 内の表示番号は、解体共仕の当該項目、当該図または当該表を示す。
特記事項に記載の(標仕) 内の表示番号は、標仕の当該項目、当該図または当該表を示す。
4. 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また() 内は製品名を示す。

| 章 | 項目 | 特記事項 | | | | | | | | | | | | |
|----------|--------------------|--|-----|--------|--------|---|------|------|---|------|------|---|------|------|
| 1 一般共通事項 | 1 ① 工事実績情報の登録 | ※請負工事費 500万円以上の場合は登録する。(1.1.4) | | | | | | | | | | | | |
| | 2 ② 監理技術者の要件 | ※1 建設業法施行規則第7条の3に基づく資格を要するもの。 2 建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける管理技術者の配置は認めない。 | | | | | | | | | | | | |
| | 3 ③ 工事の記録等 | 契約書に基づく履行報告に当たり、報告に用いる書式等は「工事運行マニュアル（新潟県土木部都市局営繕課）」による。(1.2.4) | | | | | | | | | | | | |
| | 4 ④ 電気保安技術者 | ※要() (1.3.3) | | | | | | | | | | | | |
| | 5 ⑤ 解体工事における監督者の要件 | ※解体工事の施工は、次のいずれかの者の監督の下で実施すること。 1 解体工事施工技士 2 解体工事の実務経験が1年半以上の者で、建設リサイクル法で定める「技術管理者」の資格要件を有する者。 | | | | | | | | | | | | |
| | 6 ⑥ 施工条件 | ※解体共仕によるほか、左記施工条件及び図示による。(1.3.5) | | | | | | | | | | | | |
| | 7 ⑦ 交通安全管理（出入りの管理） | ※工事現場への出入口には、解体工事期間中、交通誘導員等を配置し、公衆の交通に支障をあたえないようにしなければならない。又、近接して他の建設工事等が行われる場合には、施工者間で交通の誘導について十分な調整を行い、交通の安全を図らなくてはならない。 ※工事現場への車両等を出入りさせる場合には、道路構造物及び交通安全施設等に損害を与えることのないよう注意しなければならない。なお損傷させた場合は、直ちに当該管理者の指示により復旧しなければならない。 | | | | | | | | | | | | |
| | (巡 視) | ※交通安全巡視員等により工事現場内及びその周辺の安全巡視を敢行し、事故防止設備の完備及びその維持管理に努めなければならない。 | | | | | | | | | | | | |
| | 8 ⑧ 周辺構造物対策 | ※工事にあたって、周辺地盤のゆるみ又は沈下、構造物の破損、汚損等に十分注意するとともに、必要に応じて構造物の補強又は養生等について、その構造物の管理者とあらかじめ協議し、危害防止のための措置を講じなければならない。 | | | | | | | | | | | | |
| | 9 ⑨ 公共設備等への対策 | ※工事による影響があると思われる範囲内の公共埋設物、架空線等の処理等について、十分配慮して工事しなければならない。 公共の埋設物、架空線等に接近して工事を施工する場合は、あらかじめその埋設物、架空線等の関係者と協議し、施工の各段階における保安上必要な措置、埋設物、架空線等の防護方法、立会の有無、緊急時の連絡先及び連絡方法等を決定しておかなければならない。 | | | | | | | | | | | | |
| | 10 ⑩ 発生材の処理 | ※構外搬出適切処理 発注者に引渡しを要する発生材 ・PCB含有物 ・金属類 工事現場において再利用を図るもの及び再資源化を図るもの | | | | | | | | | | | | |
| | 11 石綿含有建材の事前調査 | 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している吹付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。(1.4.1) 調査範囲 ・図示 貸与資料 ・ 分析による石綿含有の調査 ・行う(下表による) ・行わない <table><tr><th>材料名</th><th>定性分析方法</th><th>定量分析方法</th></tr><tr><td>・</td><td>・ 箇所</td><td>・ 箇所</td></tr><tr><td>・</td><td>・ 箇所</td><td>・ 箇所</td></tr><tr><td>・</td><td>・ 箇所</td><td>・ 箇所</td></tr></table> 上記以外に調査が必要と思われる箇所があった場合は、監督員と協議すること。 | 材料名 | 定性分析方法 | 定量分析方法 | ・ | ・ 箇所 | ・ 箇所 | ・ | ・ 箇所 | ・ 箇所 | ・ | ・ 箇所 | ・ 箇所 |
| 材料名 | 定性分析方法 | 定量分析方法 | | | | | | | | | | | | |
| ・ | ・ 箇所 | ・ 箇所 | | | | | | | | | | | | |
| ・ | ・ 箇所 | ・ 箇所 | | | | | | | | | | | | |
| ・ | ・ 箇所 | ・ 箇所 | | | | | | | | | | | | |
| | 12 施工数量調査 | 調査範囲 ・図示 調査方法 ・ | | | | | | | | | | | | |

13 完成図等

※下記のものを作成し提出する。作成方法・部数等は、監督員の指示による。
・案内図及び配置図 ・残置物等の配置図
※竣工図（部）・CADデータ
・下記図面をCADデータ化し電子媒体にて提出する。作成方法・媒体等は、監督員の指示による。
案内図、配置図、残置物等の配置図、その他監督員が指示した図面

施工図等の著作権に係る当該建築物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。

14 施工図等の取扱

15 工事完成写真

工事完了後、整理のうえ監督員に提出する。提出部数 1部
~~工事完成写真は、着手前の敷地全景（敷地の位置は赤線で記入）、外周全景4面、内部主要各室、屋外施設その他監督員が必要と認め指示した箇所等とする。~~

16 工事施工状況写真

工事施工状況写真の撮影は、工事に係る材料、施工及び品質管理の状況が確認できるように行うものとし、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 営繕工事写真撮影要領(平成28年版)による工事写真撮影ガイドブック(令和5年版版)」を参考とする。
ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、撮影計画書の作成を省略出来る。
提出部数 1部
印刷物若しくは電子データ(DVD等のメディア)で提出する。

1 一般共通事項

2 仮設工事

1 騒音・粉じん等の対策

※防音パネル ○防音シート ・養生シート (2.2.1)
防音パネルの設置範囲と高さ
設置範囲：
高 さ：

2 足場その他

「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

3 総合仮設計画

※現場作業の安全確保、及び第三者災害の防止を目的として総合仮設計画を作成し、監督員の承諾を受ける。

4 監督員用事務所等

・監督員事務所 ・10 ・20 ・35 ・65 ・ m²程度を設ける。(2.3.1)
・仮設事務所の中に監督員用空間を m²程度確保する。
・監督員が使用できる備品として、下記のことを工事期間中現場に用意し、貸与する。
・保護帽 ケ ・雨具 着 ・長靴 足 ・安全帯 組

5 工 事 用 水

構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる(※有償 ・無償)

6 工 事 用 電 力

構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる(※有償 ・無償)

7 仮設建物等

現場事務所、倉庫、下小屋等の仮設建物の位置はあらかじめ監督員の承諾を受ける。

3 解体施工

1 事前措置

※浄化槽・排水槽等の汚水・汚物等を処理し、洗浄、消毒等を行う。(3.2.1)
※オイルタンク、オイルサービスタンク及び配管内の廃油を処理し、洗浄等を行う。

2 機器等の解体

※工事範囲内の機器類は、各種別ごとに分別解体する。(3.4.1)
設備機器等は専門業者又はメーカーが解体し、バッテリー液・フロンガス等は関係法令に基づき適正に処分する。

3 基礎及び杭

杭の撤去 ※行う ・残置 (3.9.2)
残置または一部撤去の場合の処理
※杭種、杭径、位置、杭頂部高さ等の記録を整備し、監督員に提出する。

解体方法 ※引抜き ・破砕 ・杭頭はつり(mまで)
引き抜いた杭の処理 ・

杭撤去跡の処理 ・山砂 ・流動化処理土 ・セメントミルク ・

杭の種類
・通心鉄筋コンクリートくい ・高強度プレストレスコンクリートくい
・場所打ちコンクリートくい ・木くい
・RCパイプ

| 建物名等 | 杭径 | 長さ | 本数 | 備考 |
|------|----|----|----|----|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

4 さく、照明設備等の付属物

付属物の解体 ・行わない ・行う(・ 図示) (3.10.1)

5 構内舗装等

樹木等の伐採・伐根 ・行わない ・行う(・ 図示) (3.11.1)
支障となる樹木の移植 ・行わない ・行う(・ 図示)

6 地下埋設物及び埋設配管

撤去する地下埋設物、埋設配管 ・あり(・図示 ・) ・なし (3.12.1)

3 解体後の整地

7 再資源化等

中間処理、再資源化施設 ※「追加特記6 建設廃棄物の処理」による。(4.4.1)
再資源化する建設廃棄物
※建設リサイクル法による特定建設資材廃棄物 ※金属類
※資源有効利用促進法に基づく指定再資源化製品
※資源有効利用促進法に基づく指定再利用促進製品
・廃棄物処理法に基づく水銀使用製品産業廃棄物
・硬質ポリ塩化ビニル管及び継手 ・ガラス
指定建設資材廃棄物としての木材の縮減(焼却) ※不可 ・可
再資源化して現場で利用する建設廃棄物 ・

2 処理に注意を要する建設廃棄物

処理に注意を要する建設廃棄物 (4.5.1)
・せっこうボード(石綿含有) ・せっこうボード(ひ素・カドミウム含有)
・せっこうボード(上記以外)
・CCA処理木材(クロム・銅・ひ素化合物系防腐処理木材)
処理の方法
・解体共仕第4章5節による。
施工に先立ち、処理計画書を作成し、監督員の承諾を受けること。

5 1 廃石綿等

※6 石綿含有建材の除去及び処理による。(5.4.1(1))

2 PCB含有機器類

調査方法 ※製造所、製造年、型式等による調査 (5.4.1(2))
・専門分析機関による微量PCB分析調査

調査対象 ・
上記のほかにも含有が疑われる機器があった場合は調査を行う。

3 PCB含有シーリング材

事前調査等 ・行う(下記の要領で分析する) ・行わない (5.4.1(3))
現場においてサンプルを採集し、専門分析機関で分析を行う。
採取箇所 ※外壁目地 ・建具周囲目地 ・図示
採取箇所数 ・部材が異なる毎に1箇所 ・図示
分析によりPCBの含有が確認された場合は、下記により施工調査等を行い、適切に処理を行う。
調査範囲 ※工事範囲全て ・図示
調査内容 シール材使用部位及び長さの確認
施工範囲と工事監理区分の確認
仮設計画
廃棄物等の搬出方法

4 廃油

処理方法 ・焼却処分 ・中間処理施設による再生処理 (5.4.1(4))

5 廃酸・廃アルカリ

処理方法 ・中和処理 ・焼却処分 (5.4.1(5))
・中間処理施設による再生処理

6 ダイオキシン類

サンプリング調査 ・行う ・行わない (5.4.1(6))

| 材料名 | 調査箇所 | 測定方法 |
|-----|------|------|
| | | |
| | | |

焼却施設の解体及び処分の方法 ・
ダイオキシン類対策特別措置法施行令(平成11年政令第433号)その他関係法令に従い、適切に処理すること。

6 1 共通

※建築物の解体等工事、石綿除去について、以下の基準を適用する。
・建築物等の解体等の作業及び労働者が石綿等にはばく露するおそれがある建築物等における業務での労働者の石綿ばく露防止に関する技術上の指針(令和6年1月31日付け 技術上の指令第25号)
・新石綿技術指針対応版 石綿粉じんへのばく露防止について7%
(建設業労働災害防止協会)
・建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底について7%
令和6年2月(厚生労働省、環境省)

2 石綿粉じん濃度測定

石綿粉じん濃度測定 ○行う ・行わない [6.1.3]
測定時期、場所及び測定点

| 適用測定名称 | 測定時期 | 測定場所 | 測定箇所数 (各処理作業ごと) |
|-----------------|--------------|-------------------------|----------------------------|
| ・測定1 処理作業前 | 処理作業前 | 処理作業室内 | ・()点 |
| ・測定2 | | 施工区画周辺又は敷地境界 | ・4方向各1点 ・()点 |
| ・測定3 処理作業中 | 処理作業中 | 処理作業室内 | ・()点 |
| ・測定4 | | 出入口 | ・()点 |
| ・測定5 | | 集じん・排気装置の排出口(処理作業室外の場合) | ・出口吹出し風量1m/s以下の位置各1点 ・()点 |
| ・測定6 | | 施工区画周辺又は敷地境界 | ・4方向各1点 ・()点 |
| ・測定7 処理作業後 | 処理作業後 | 処理作業室内 | ・()点 |
| ・測定8 (隔離シート撤去前) | 施工区画周辺又は敷地境界 | | ・4方向各1点 ・()点 |

仕様書(そのⅠ)

備考

有限会社 サクライ 設計

設計者等氏名 五十嵐 正充

建築士登録番号等 一級建築士 第129518号

工事名称 旧入広瀬中学校等解体撤去工事

年月 2025. 11

図面番号 共通-01

図面名称 特記仕様書(そのⅠ)

縮尺 Ver. 070401

電 機 構 機

6

石綿含有建材の除去及び処理

②石綿粉じん濃度測定

測定方法
・自動測定器による測定
測定名称測定方法
・測定4・測定5粉じん相対濃度(ゲージ法粉じん)計、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定
・JIS K 3850-1に基づいた測定
測定名称測定方法
・測定4・測定5
・
・測定
・測定
・測定

③石綿含有吹付け材の除去

除去工法
※解体共仕第6章3節による。
・

4石綿含有保温材等の除去

除去工法
※粉じん飛散抑制剤等による湿潤化の後、手ばらしで行う。
・掻き落し・破砕・切断等による除去を行う。
※「3石綿含有吹付け材の除去」により、作業場を隔離する。

5除去した石綿含有吹付け材等のこん包及び飛散防止

除去した石綿含有吹付け材・保温材等のこん包及び飛散防止
※密封処理(二重袋梱包)
※湿潤化
・固型化(※セメント固化・)

⑥石綿含有成形板の除去

作業場の区画
建物内部で除去を行う場合、除去作業場所と他の場所を隔てるため、開閉部位(出入口、換気口、窓等)は閉とし、ガラスの破損箇所等で開となっている部位を養生シート等で塞ぐ。
石綿含有成形板の種類
材料名使用部位厚さ(mm)備考
アスベル
フレキシブルボード
フレキシブルボード
フレキシブルボード
※上記以外に石綿含有が疑われる建材があった場合は、速やかに監督員と協議すること。

⑦石綿含有仕上塗材の除去

除去工法
・集じん装置付き超高压水洗工法
・剥離剤併用手工具ケレン工法
・集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法
・
石綿則及び大気汚染防止法に基づき除去を行い、定められた工法による除去が困難な場合は、監督職員と協議すること。

⑧除去した石綿含有吹付け材等の保管、運搬、処分等

除去した石綿等の処理
※各種廃棄物分類に応じた最終処分場で埋立処分
・中間処理
・アスベストの中間処理に適する溶融施設において溶融処理
・大臣認定を受けた無害化処理施設において無害化処理

7追加特記

⑤工事機械(移動式クレーン)

※移動式クレーンの選定に当たっては、自立できるもので、施工条件、近隣環境等と施工計画との関連を検討して、安全な作業ができる能力を持った機械を選定しなければならない。
※移動式クレーンを使用する場合には、作業範囲、作業条件を考慮して、安定度、接地圧、アウトリガーの反力等の検討・確認を行い、適切な作業地盤上で使用しなければならない。
※移動式クレーンを使用する場合には、高所及び敷地周辺から、吊荷、吊具等の落下、飛散等に十分注意すると共に、これらによる危害を防止するための措置を講じなければならない。
※共通事項特記仕様書「排ガス対策型建設機械等に関する特記仕様書」による。
(排出ガス対策型等建設機械)

6建設廃棄物の処理等
1再生資材の利用
下記資材の使用に際し、再生資材を利用すること。
再生資材名規格使用箇所再資源化施設名・所在地備考
2建設発生土の利用
盛土等に使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。
発注機関工事名発生場所施工会社名・連絡先備考
3建設発生土の搬出
工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所に搬出するものとして積算している。
受入工事名／施設名称建設発生土
工事場所／施設所在地井上産業(株)
連絡先南魚沼市九日町3934
仮置場所の有無無
備考025-777-3173
4建設廃棄物の搬出
工事の施工により発生する廃棄物は、下記の場所に搬出するものとして積算している。
搬出する廃棄物名金属屑コンクリート・モルタル・アスファルト
処理施設名称(有)渡辺鋼鉄店桜井石材リサイクルプラント
施設所在地魚沼市四日町381-1
連絡先025-792-6140
備考025-792-0353
搬出する廃棄物名硝子・陶磁器屑廃プラスチック
処理施設名称魚沼環境(株)魚沼環境(株)
施設所在地長岡市川口田麦山109
連絡先0258-89-2921
備考0258-89-2921
搬出する廃棄物名木屑ホリ塩化ビニル等混合物
処理施設名称魚沼環境(株)魚沼環境(株)
施設所在地長岡市川口田麦山109
連絡先0258-89-2921
備考0258-89-2921
搬出する廃棄物名石綿廃棄物(株)フィルテック
処理施設名称岐阜県可児市広見1-47
連絡先0257-62-2121
備考
上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。
なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。
ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。
5建設リサイクル法の対象建設工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、同法第18条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。
6再生資源利用計画書を作成するものとする。
7再生資源利用促進計画書を作成するものとする。
8自ら産業廃棄物を運搬・処分する場合以外は、委託契約書の写しを提出すること。
9特殊な副産物の処理等については、解体共仕第7章3節による。

⑩有価物について
当該工事における、有価物については下記の通り取り扱う。
(1)鉄屑等金属類及び電線等是有価物として処分を行うこと。
(2)数量はスクラップ業者の計量伝票を根拠とする。
(3)鉄屑等有価物の売り払い明細書を作成し、市に納入すること。
(4)納入方法は契約後に市が発行する納付書により入金をすること。
⑪協議について
建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、1～10の指定や条件によりがたい場合は、速やかに監督員に報告し、協議すること。

仕様書(そのⅡ)

備考

設計者等氏名五十嵐正充
建築士登録番号等一級建築士 第129518号
工事名称旧入広瀬中学校等解体撤去工事
年月2025.11
図面番号共通-02
図面名称特記仕様書(そのⅡ)
Ver. 070401
縮尺
電機
構機

6

石綿含有建材の除去及び処理

②

石綿粉じん濃度測定

測定方法

・自動測定器による測定

| 測定名称 | | 測定方法 | | |
|-------|--|--|--|--|
| ・測定 4 | | 粉じん相対濃度(ゲージ法粉じん)計、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定 | | |
| ・測定 5 | | | | |

・JIS K 3850-1に基づいた測定

| 測定名称 | | ろ過径(mm) | 試料の吸引流量(L/min) | 試料の吸引時間(min) |
|-------|-------|---------|----------------|--------------|
| ・測定 4 | ・測定 5 | 25 | 5 | 30 |
| ・ | | | | |
| ・測定 | ・ | 47 | 10 | 120 |
| ・測定 | ・ | 47 | 10 | 240 |
| ・測定 | ・ | | | |

③

石綿含有吹付け材の除去

除去工法

(6.3.2)

※解体共仕第6章3節による。

・

4

石綿含有保温材等の除去

除去工法

(6.4.1)

※粉じん飛散抑制剤等による湿潤化の後、手ばらしで行う。

・掻き落し・破砕・切断等による除去を行う。

※「3 石綿含有吹付け材の除去」により、作業場を隔離する。

5

除去した石綿含有吹付け材等のこん包及び飛散防止

除去した石綿含有吹付け材・保温材等のこん包及び飛散防止

(6.3.2)(6.4.3)

※密封処理(二重袋梱包)

※湿潤化

・固型化(※セメント固化)

・

⑥

石綿含有成形板の除去

作業場の区画

(6.5.1)

建物内部で除去を行う場合、除去作業場所と他の場所を隔てるため、開閉部位(出入口、換気口、窓等)は閉とし、ガラスの破損箇所等で開となっている部位を養生シート等で塞ぐ。

石綿含有成形板の種類

| 材 料 名 | 使 用 部 位 | 厚 さ (mm) | 備 考 |
|-----------|---------|----------|-----|
| アスベール | | | |
| フレキシブルボード | | 5 | |
| フレキシブルボード | | 5 | |
| フレキシブルボード | | 5 | |

※上記以外に石綿含有が疑われる建材があった場合は、速やかに監督員と協議すること。

⑦

石綿含有仕上塗材の除去

除去工法

(6.6.1)

・集じん装置付き超高压水洗工法

・剥離剤併用手工具ケレン工法

・集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法

・

石綿則及び大気汚染防止法に基づき除去を行い、定められた工法による除去が困難な場合は、監督職員と協議すること。

⑧

除去した石綿含有吹付け材等の保管、運搬、処分等

除去した石綿等の処理

(6.3.3)(6.4.3)(6.5.3)(6.6.4)

※各種廃棄物分類に応じた最終処分場で埋立処分

・中間処理

・アスベストの中間処理に適する溶融施設において溶融処理

・大臣認定を受けた無害化処理施設において無害化処理

7

追加特記

1

公共事業労務費調査への協力

2

工事監理方式

3

適用基準等

④

工事成績評定

⑤

工事機械(機械の選定)

(組立及び解体)

(使用及び移動)

※協力する

共同監理

・有り

・無し

・営繕工事電子納品要領(国土交通省大臣官庁官庁営繕部整備課施設評価室監修)※工事運行マニュアル(新潟県土木部都市局営繕課作成)

・

※受注者は、工事成績評定の対象となる工事施工において、自ら立案し実施した創意工夫や工事特性に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了までに所定の様式により提出することができる。(様式等は、工事運行マニュアルによる。)

※機械の選定に当たっては、地域の安全及び環境対策上、転倒、騒音、振動等について十分注意して行なわなければならない。また工事規模、施工方法等に見合った、安全な作業ができる能力をもった機械を選定しなければならない。機械の能力を十分に把握・検討し、その能力を超えて使用してはならない。

※機械の組立及び解体に当たっては、機械に精通した者の直接の指導により、定められた手順を厳守しなければならない。

※建設機械を使用し又は移動させる場合は、機械類に関する関係法令を厳守し、架線その他の構造物に接触し、若しくは定められた範囲以上に近接し、又は道路等に損害を与えることがないようにしなければならない。

※建設機械を作動させる範囲は、原則として工事現場内としなければならない。やむを得ず工事現場外で使用させる場合には、作業範囲内へ立ち入りを制限する等措置を講じなければならない。

※架線、構造物又は工事現場の境界に近接して建設機械を使用する場合には、車止めの措置、ブームの回転に対するストッパーの使用、近接電線に対する絶縁材の装着、見張り員の配置等の措置を講じなければならない。

⑤

工事機械(移動式クレーン)

(排出ガス対策型等建設機械)

※移動式クレーンの選定に当たっては、自立できるもので、施工条件、近隣環境等と施工計画との関連を検討して、安全な作業ができる能力を持った機械を選定しなければならない。

※移動式クレーンを使用する場合には、作業範囲、作業条件を考慮して、安定度、接地圧、アウトリガーの反力等の検討・確認を行い、適切な作業地盤上で使用しなければならない。

※移動式クレーンを使用する場合には、高所及び敷地周辺から、吊荷、吊具等の落下、飛散等に十分注意すると共に、これらによる危害を防止するための措置を講じなければならない。

※共通事項特記仕様書「排ガス対策型建設機械等に関する特記仕様書」による。

6

建設廃棄物の処理等

1

再生資材の利用

下記資材の使用に際し、再生資材を利用すること。

| 再 生 資 材 名 | 規 格 | 使 用 箇 所 | 再資源化施設名・所在地 | 備 考 |
|-----------|-----|---------|-------------|-----|
| | | | | |
| | | | | |

2

建設発生土の利用

盛土等に使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。

| 発 注 機 関 | 工 事 名 | 発 生 場 所 | 施工会社名・連絡先 | 備 考 |
|---------|-------|---------|-----------|-----|
| | | | | |
| | | | | |

3

建設発生土の搬出

工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所に搬出するものとして積算している。

| 受入工事名／施設名称 | |
|---------------|--|
| 工事場所／施設所在地 | |
| 連 絡 先 | |
| 仮 置 場 所 の 有 無 | |
| 備 考 | |

④

建設廃棄物の搬出

工事の施工により発生する廃棄物は、下記の場所に搬出するものとして積算している。

| 搬出する廃棄物名 | 金 属 屑 | コンクリート・モルタル・アスファルト |
|-------------|--------------|--------------------|
| 処 理 施 設 名 称 | (有)渡辺鋼鉄店 | 桜井石材リサイクルプラント |
| 施 設 所 在 地 | 魚沼市四日町381-1 | 魚沼市下倉1241-1 |
| 連 絡 先 | 025-792-6140 | 025-792-0353 |
| 備 考 | | |

| 搬出する廃棄物名 | 硝子・陶磁器屑 | 廃プラスチック |
|-------------|--------------|--------------|
| 処 理 施 設 名 称 | 魚沼環境(株) | 魚沼環境(株) |
| 施 設 所 在 地 | 長岡市川口田麦山109 | 長岡市川口田麦山109 |
| 連 絡 先 | 0258-89-2921 | 0258-89-2921 |
| 備 考 | | |

| 搬出する廃棄物名 | 木屑 | ポリ塩化ビニル等混合物 |
|-------------|--------------|--------------|
| 処 理 施 設 名 称 | 魚沼環境(株) | 魚沼環境(株) |
| 施 設 所 在 地 | 長岡市川口田麦山109 | 長岡市川口田麦山109 |
| 連 絡 先 | 0258-89-2921 | 0258-89-2921 |
| 備 考 | | |

| 搬出する廃棄物名 | 石綿廃棄物 | 建設発生土 |
|-------------|--------------|--------------|
| 処 理 施 設 名 称 | (株)フィルテック | 井上産業(株) |
| 施 設 所 在 地 | 岐阜県可児市広見1-47 | 南魚沼市九日町3934 |
| 連 絡 先 | 0257-62-2121 | 025-777-3173 |
| 備 考 | | |

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。
なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。
ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

⑤

建設リサイクル法の対象建設工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、同法第18条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。

⑥

再生資源利用計画書を作成するものとする。

⑦

再生資源利用促進計画書を作成するものとする。

⑧

自ら産業廃棄物を運搬・処分する場合以外は、委託契約書の写しを提出すること。

⑨

特殊な副産物の処理等については、解体共仕第7章3節による。

⑩

有価物について

当該工事における、有価物については下記の通り取り扱う。

(1)鉄屑等金属類及び電線等是有価物として処分を行うこと。

(2)数量はスクラップ業者の計量伝票を根拠とする。

(3)鉄屑等有価物の売り払い明細書を作成し、市に納入すること。

(4)納入方法は契約後に市が発行する納付書により入金をする事。

⑪

協議について

建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、1～10の指定や条件によりがたい場合は、速やかに監督員に報告し、協議すること。

仕様書(そのⅡ)

旧入広瀬中学校等解体撤去工事

年 月 2025.11

図面番号 共通-02

設計者等氏名 五十嵐 正充

建築士登録番号等 一級建築士 第129518号

工事名称

図面名称

特記仕様書(そのⅡ)

Ver. 070401

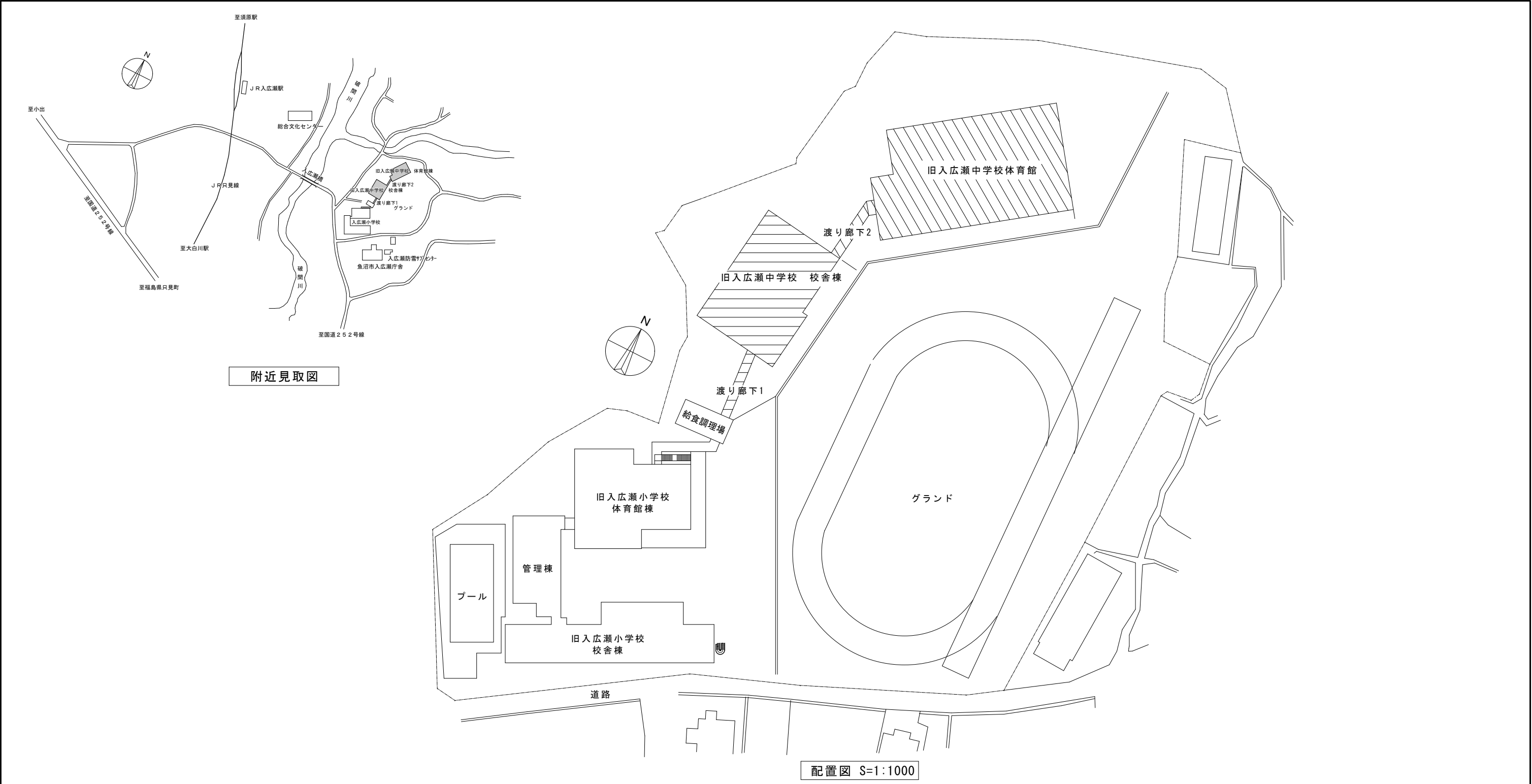
縮 尺

電 機

構 造

有 限 会 社 サ ク ラ イ 設 計

新潟県魚沼市小出島1209番地16(小出東町)
一級建築士事務所登録(ⅲ)第1925号 TEL 025-792-3586・FAX 792-9990
一級建築士登録 第242222号 管理建築士 浅井 守 人



校舎棟 面積表

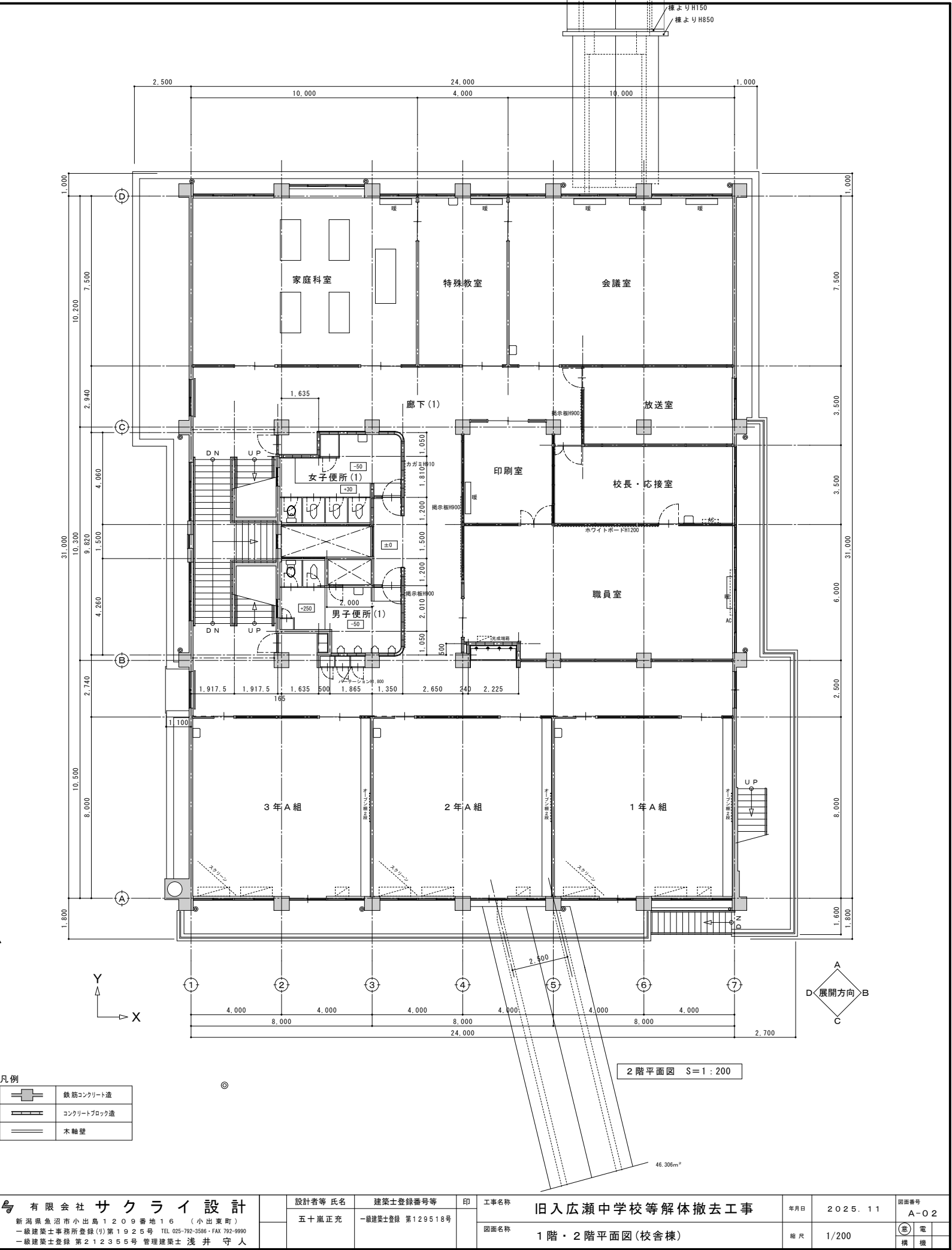
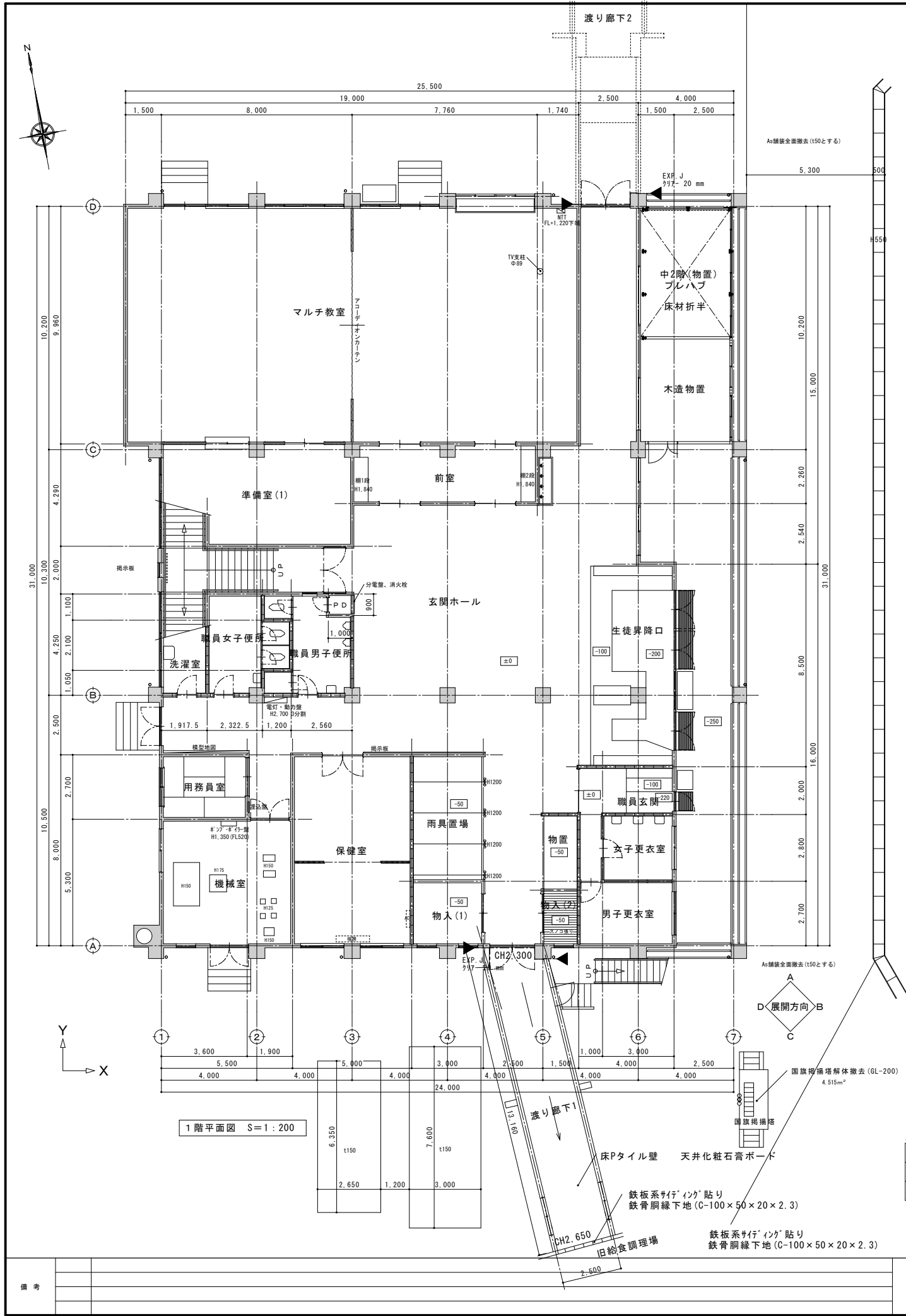
| | | 計 算 式 | 面 積 (㎡) |
|-------------|--------|--|----------|
| 敷 地 面 積 | | | |
| 建 築 面 積 | | 24.00×31.00+1.50×9.96+2.50×13.16(渡り廊下1) | 791.84 |
| 床 面 積 | 1 階床面積 | 25.50×9.96+24.00×21.04+2.50×13.16(渡り廊下1) | 791.84 |
| | 2 階床面積 | 24.00×31.00 | 744.00 |
| | 3 階床面積 | 24.00×31.00 | 744.00 |
| | PH階床面積 | 3.835×10.30 | 39.50 |
| 延 床 面 積 | | 791.84+744.00+744.00+39.50 | 2,319.34 |

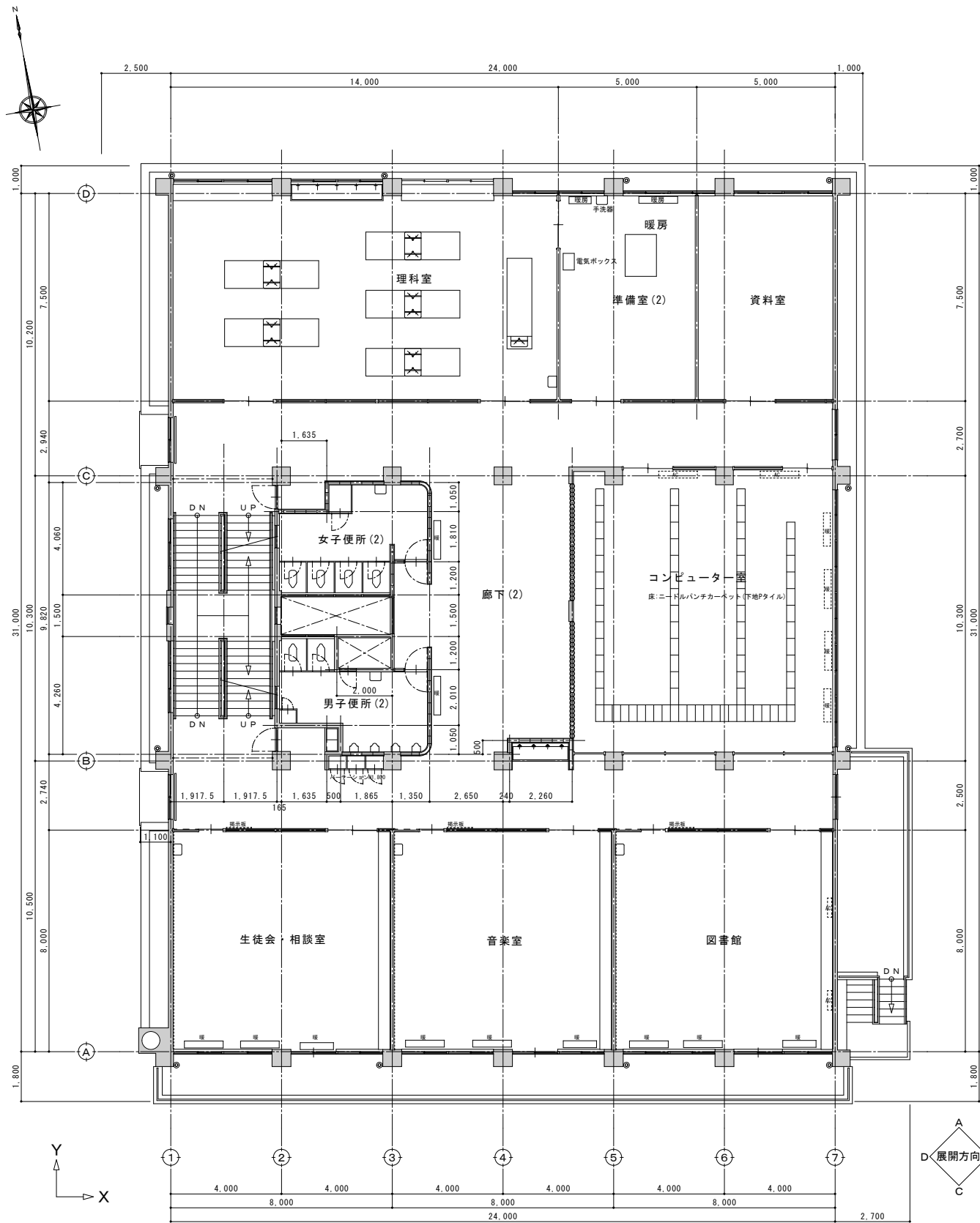
体育館棟 面積表

| | | 計 算 式 | 面 積 (㎡) |
|-------------|--------|--|----------|
| 敷 地 面 積 | | | |
| 建 築 面 積 | | 41.00×24.00+5.00×13.50 + {(5.80+2.70)×2.9+(7.20×2.60)}(渡り廊下2) | 1,094.87 |
| 床 面 積 | 1 階床面積 | 41.00×24.00+5.00×13.50 + {(5.80+2.70)×2.9+(7.20×2.60)}(渡り廊下2) | 1,094.87 |
| | 2 階床面積 | 8.00×24.00 | 192.00 |
| 延 床 面 積 | | 1,094.87+192.00 | 1,286.87 |

| 外部仕上表 | | | | | | | | | | | |
|---------|--|--|--|--|--|--|------|---|-----------|---------------------------------|--|
| 位 置 | | 建設時仕上 | | | | | 現況仕上 | | | 石綿含有について | |
| 屋 根 | | アスファルト防水8層（均しモルタル15mm As防水層 シタ´-コンクリート90mm 防水モルタル金ｺﾞﾃ仕上20mm 勾配1/150）伸縮目地 ASｺﾝﾊﾟｸﾄ´ｽﾗﾌﾞ 下端ｽﾀｲﾛﾌｫｰﾑ20mm打込） | | | | | 同 | 左 | ｼｰﾄ防水密着工法 | ﾀﾝﾌﾞﾙ採取 アスファルト防水層に含有（Tr） ｻﾞﾍﾞﾙ3 | |
| 底 | | コンクリート打放し 底裏白セメント吹付 | | | | | 同 | 左 | | | |
| 外 壁 | | モルタル塗り 刷毛引き仕上 アクリル系リシン吹付 化粧目地切 | | | | | 同 | 左 | | | |
| 柱 梁 | | コンクリート打放し | | | | | 同 | 左 | | | |
| 建 具 | | アルミサッシ（見込み60mm）一部ｽﾃｰﾙﾄﾞｱ | | | | | 同 | 左 | | | |
| 地 覆 | | モルタル塗り 刷毛引き | | | | | 同 | 左 | | | |
| ﾊﾞﾙｺﾆｰ | | 床モルタル金ｺﾞﾃ仕上30mmﾊﾞﾝﾃﾞｭｯｸｽ防水 天井コンクリート打放し白セメント吹付 | | | | | 同 | 左 | | | |
| ﾎｰﾁ | | 床モルタル金ｺﾞﾃ仕上25mm化粧目地切 天井木毛セメント板25mm打込 モルタル塗り 刷毛引きアクリルリシン吹付 段モルタル金ｺﾞﾃﾉﾝｽﾘｯﾌﾟﾀｲﾙ | | | | | 同 | 左 | | | |
| 外 部 階 段 | | 路面、ケ込みモルタル塗り金ｺﾞﾃ他コンクリート打放し白セメント吹付 手摺鉄製SOP | | | | | 同 | 左 | | | |
| 煙 突 | | コンクリート打放し内管ｶﾞｽﾀｯｸφ550mm | | | | | 同 | 左 | | 見なし有 ｻﾞﾍﾞﾙ2 | |
| 犬 走 り | | モルタル金ｺﾞﾃ仕上 側溝U型溝 内巾150mm | | | | | 同 | 左 | | | |

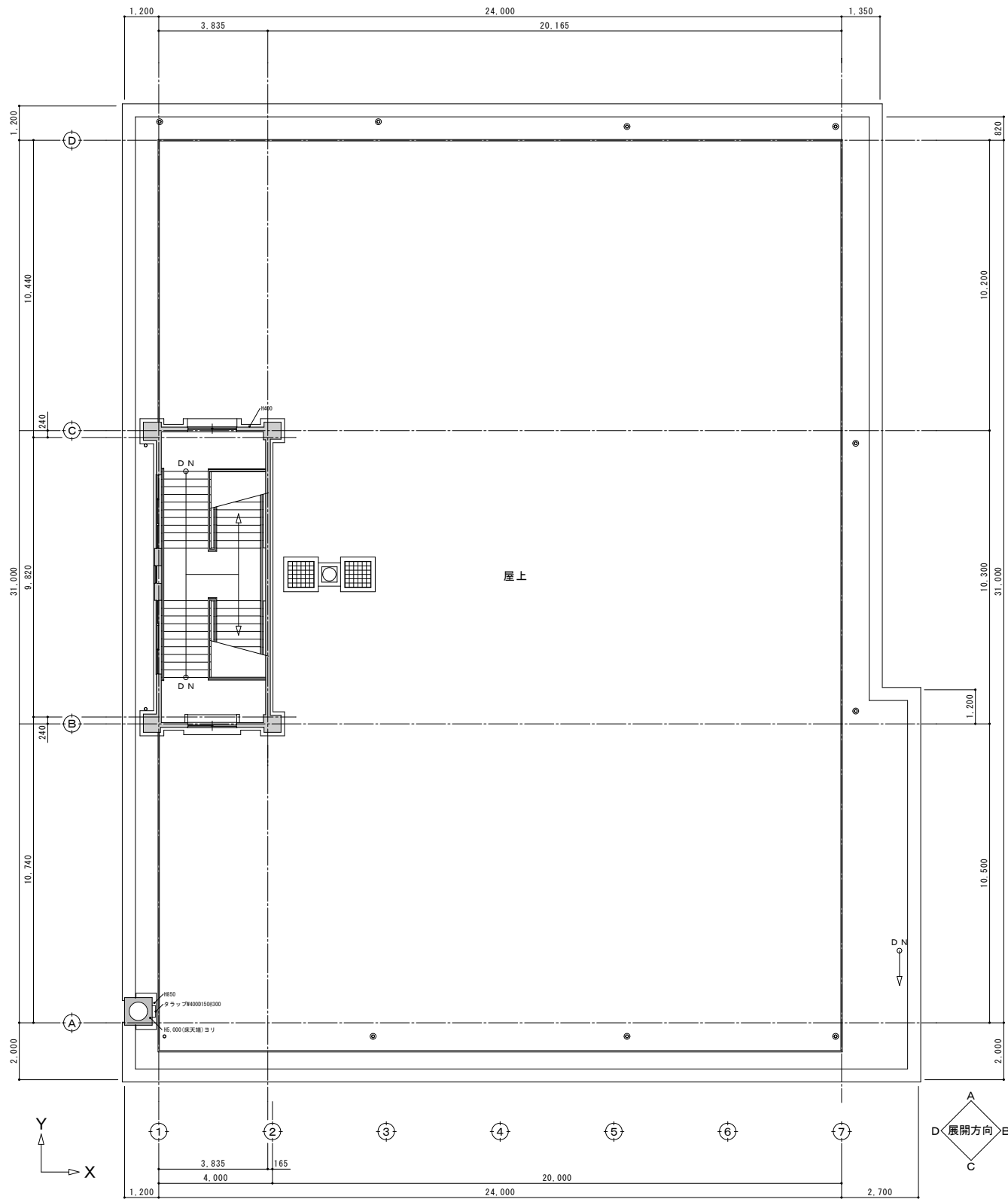
| 内部仕上表 | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------|-----------|---|--------------------------|--|--|-------------------------------------|---|--|--|--|
| 階 | 室 名 | | 床 | 巾 木・ | 腰 壁・ | 壁 | 天 井 | 石綿含有について | | | |
| 1階 | 生徒昇降口 | 建設時 現況 | ｸﾘﾝｸ-ﾀｲﾙ貼り 全 上 | 人造石研ぎ出仕上 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗りH=1,800 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃﾌﾞﾗｽﾀｰ塗り 全 上 | ρ 4.5mmﾍﾞﾆﾔﾀｲﾌﾟⅠｷﾞｸｽｲﾋﾙﾄﾝ 吹付 全 上 | | | | |
| | 職員玄関 | 建設時 現況 | ｸﾘﾝｸ-ﾀｲﾙ貼り 全 上 | 人造石研ぎ出仕上 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗りH=1,800 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃﾌﾞﾗｽﾀｰ塗り 全 上 | ρ 4.5mmﾍﾞﾆﾔﾀｲﾌﾟⅠｷﾞｸｽｲﾋﾙﾄﾝ 吹付 全 上 | | | | |
| | 雨具置場 | 建設時 現況 | ｸﾘﾝｸ-ﾀｲﾙ貼り 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃ 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗りH=1,800 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃﾌﾞﾗｽﾀｰ塗り 全 上 | ρ 4.5mmﾍﾞﾆﾔﾀｲﾌﾟⅠｷﾞｸｽｲﾋﾙﾄﾝ 吹付 全 上 | | | | |
| | 玄関ホール | 建設時 現況 | Pﾀｲﾙ 全上 石綿含有 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗り一部木製 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗りH=1,800一部ｽﾀｲﾛﾊﾞﾝｰﾃｰｼｮﾝOP塗り一部5mmﾍﾞﾆﾔ目透しOP塗り 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗りH=1,800一部ｽﾀｲﾛﾊﾞﾝｰﾃｰｼｮﾝOP塗り一部5mmﾍﾞﾆﾔ目透しOP塗り 全 上 | ρ 4.5mmﾍﾞﾆﾔﾀｲﾌﾟⅠｷﾞｸｽｲﾋﾙﾄﾝ 吹付 全 上 | 床Pﾀｲﾙ、接着剤 石綿含有 ｻﾞﾍﾞﾙ3 | | | |
| | マルチ教室 | 建設時 現況 | ｳｯﾄﾞﾌﾞﾛｯｸ貼り、モルタル金ｺﾞﾃ化粧目地切 ｳｯﾄﾞﾌﾞﾛｯｸ貼り 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗り一部木製 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗りH=1,800一部ｽﾀｲﾛﾊﾞﾝｰﾃｰｼｮﾝOP塗り一部5mmﾍﾞﾆﾔ目透しOP塗り 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗りH=1,800一部ｽﾀｲﾛﾊﾞﾝｰﾃｰｼｮﾝOP塗り一部5mmﾍﾞﾆﾔ目透しOP塗り 全 上 | ρ 9mm東洋吸音ﾗﾝﾀﾞﾞﾞﾙ 600×300 全 上 | 床Pﾀｲﾙ、接着剤 石綿含有 ｻﾞﾍﾞﾙ3 | | | |
| | 前室 | 建設時 現況 | Pﾀｲﾙ 全上 石綿含有 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗り一部木製 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃﾌﾞﾗｽﾀｰ塗りH=1,800一部ｽﾀｲﾛﾊﾞﾝｰﾃｰｼｮﾝOP塗り 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃﾌﾞﾗｽﾀｰ塗りH=1,800一部ｽﾀｲﾛﾊﾞﾝｰﾃｰｼｮﾝOP塗り 全 上 | ρ 9mm東洋吸音ﾗﾝﾀﾞﾞﾞﾙ 600×300 全 上 | 床Pﾀｲﾙ、接着剤 石綿含有 ｻﾞﾍﾞﾙ3 | | | |
| | 準備室（1） | 建設時 現況 | Pﾀｲﾙ 全上 石綿含有 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗り一部木製 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃﾌﾞﾗｽﾀｰ塗りH=1,800一部ｽﾀｲﾛﾊﾞﾝｰﾃｰｼｮﾝOP塗り 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃﾌﾞﾗｽﾀｰ塗りH=1,800一部ｽﾀｲﾛﾊﾞﾝｰﾃｰｼｮﾝOP塗り 全 上 | ρ 9mm東洋吸音ﾗﾝﾀﾞﾞﾞﾙ 600×300 全 上 | 床Pﾀｲﾙ、接着剤 石綿含有 ｻﾞﾍﾞﾙ3 | | | |
| | 女子更衣室 | 建設時 現況 | Pﾀｲﾙ 全上 石綿含有 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗り一部木製 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃﾌﾞﾗｽﾀｰ塗りH=1,800一部ｽﾀｲﾛﾊﾞﾝｰﾃｰｼｮﾝOP塗り 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃﾌﾞﾗｽﾀｰ塗りH=1,800一部ｽﾀｲﾛﾊﾞﾝｰﾃｰｼｮﾝOP塗り 全 上 | ρ 9mm東洋吸音ﾗﾝﾀﾞﾞﾞﾙ 600×300 全 上 | 床Pﾀｲﾙ、接着剤 石綿含有 ｻﾞﾍﾞﾙ3 | | | |
| | 男子更衣室 | 建設時 現況 | Pﾀｲﾙ 全上 石綿含有 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗り一部木製 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗りH=1,800 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗りH=1,800 全 上 | ρ 9mm東洋吸音ﾗﾝﾀﾞﾞﾞﾙ 600×300 全 上 | 床Pﾀｲﾙ、接着剤 石綿含有 ｻﾞﾍﾞﾙ3 | | | |
| | 物 置 | 建設時 現況 | ｸﾘﾝｸ-ﾀｲﾙ貼り 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃ 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗りH=1,800 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗りH=1,800 全 上 | ρ 4.5mmﾍﾞﾆﾔﾀｲﾌﾟⅠｷﾞｸｽｲﾋﾙﾄﾝ 吹付 全 上 | | | | |
| | 物 入 （ 1 ） | 建設時 現況 | ｸﾘﾝｸ-ﾀｲﾙ貼り ｳｯﾄﾞﾌﾛｰｰ 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃ 雑巾すり 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃ 木製軸組 ｾﾞﾆﾔ貼り 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃﾌﾞﾗｽﾀｰ塗り 全 上 | ρ 4.5mmﾍﾞﾆﾔﾀｲﾌﾟⅠｷﾞｸｽｲﾋﾙﾄﾝ 吹付 全 上 | | | | |
| | 物 入 （ 2 ） | 建設時 現況 | ｸﾘﾝｸ-ﾀｲﾙ貼り 木床組み ｾﾞﾆﾔ貼り 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃ 雑巾すり 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗りH=1,800一部ｽﾀｲﾛﾊﾞﾝｰﾃｰｼｮﾝOP塗り一部5mmﾍﾞﾆﾔ目透しOP塗り 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃﾌﾞﾗｽﾀｰ塗り 全 上 | ρ 4.5mmﾍﾞﾆﾔﾀｲﾌﾟⅠｷﾞｸｽｲﾋﾙﾄﾝ 吹付 全 上 | | | | |
| | 保 健 室 | 建設時 現況 | Pﾀｲﾙ 全上 石綿含有 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗り一部木製 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗りH=1,200 全 上 | モルタル塗り 刷毛引き 全 上 | ρ 4mm石綿板ｴｸｽｲﾋﾙﾄﾝ 吹付 全 上 | 床Pﾀｲﾙ、接着剤 石綿含有 ｻﾞﾍﾞﾙ3 | | | |
| | 職員女子便所 | 建設時 現況 | ｴﾓﾞｲｸﾀｲﾙ 全 上 | ｴﾓﾞｲｸﾀｲﾙ 全 上 | ｴﾓﾞｲｸﾀｲﾙH=1,200 全 上 | モルタル塗り 刷毛引き 全 上 | ρ 4mm石綿板ｴｸｽｲﾋﾙﾄﾝ 吹付 全 上 | | | | |
| | 職員男子便所 | 建設時 現況 | ｴﾓﾞｲｸﾀｲﾙ 全 上 | ｴﾓﾞｲｸﾀｲﾙ 全 上 | ｴﾓﾞｲｸﾀｲﾙH=1,200 全 上 | モルタル塗り 刷毛引き 全 上 | ρ 4mm石綿板ｴｸｽｲﾋﾙﾄﾝ 吹付 全 上 | | | | |
| | 機 械 室 | 建設時 現況 | モルタル金ｺﾞﾃ仕上 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃ 全 上 | モルタル塗り 刷毛引き 全 上 | モルタル塗り 刷毛引き 全 上 | ρ 25mm木毛セメント板白セメント 吹付 全 上 | | | | |
| | 用 務 員 室 | 建設時 現況 | ﾀﾏﾐ 全 上 | 畳寄せ 全 上 | モルタル塗りﾌﾞﾗｽﾀｰ塗り 全 上 | モルタル塗りﾌﾞﾗｽﾀｰ塗り 全 上 | 杉板 ｾﾞﾆﾔ目透し貼り 全 上 | | | | |
| | 渡 り 廊 下 1 | 建設時 現況 | Pﾀｲﾙ 全上 石綿含有 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗り 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗りEmp塗り 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗りEmp塗り 全 上 | 木製下地 化粧石膏ボード（ｽﾌﾟﾚｰﾃｯｸｽ○25吹付） 全 上 | ｽﾌﾟﾚｰﾃｯｸｽ○25 含有 ｻﾞﾍﾞﾙ1 床Pﾀｲﾙ、接着剤 石綿含有 ｻﾞﾍﾞﾙ3 | | | |
| 2階 | 3 年 A 組 | 建設時 現況 | Pﾀｲﾙ 全上 石綿含有 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗り一部木製 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗りH=1,800一部ｽﾀｲﾛﾊﾞﾝｰﾃｰｼｮﾝOP塗り一部5mmﾍﾞﾆﾔ目透しOP塗り 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗りH=1,800一部ｽﾀｲﾛﾊﾞﾝｰﾃｰｼｮﾝOP塗り一部5mmﾍﾞﾆﾔ目透しOP塗り 全 上 | ρ 9mm東洋吸音ﾗﾝﾀﾞﾞﾞﾙ 600×300 全 上 | 床Pﾀｲﾙ、接着剤 石綿含有 ｻﾞﾍﾞﾙ3 | | | |
| | 2 年 A 組 | 建設時 現況 | Pﾀｲﾙ 全上 石綿含有 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗り一部木製 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗りH=1,800一部ｽﾀｲﾛﾊﾞﾝｰﾃｰｼｮﾝAEmp塗り一部5mmﾍﾞﾆﾔ目透しOP塗り 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗りH=1,800一部ｽﾀｲﾛﾊﾞﾝｰﾃｰｼｮﾝOP塗り一部5mmﾍﾞﾆﾔ目透しOP塗り 全 上 | ρ 9mm東洋吸音ﾗﾝﾀﾞﾞﾞﾙ 600×300 全 上 | 床Pﾀｲﾙ、接着剤 石綿含有 ｻﾞﾍﾞﾙ3 | | | |
| | 1 年 A 組 | 建設時 現況 | Pﾀｲﾙ 全上 石綿含有 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗り一部木製 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗りH=1,800一部ｽﾀｲﾛﾊﾞﾝｰﾃｰｼｮﾝOP塗り一部5mmﾍﾞﾆﾔ目透しOP塗り 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗りH=1,800一部ｽﾀｲﾛﾊﾞﾝｰﾃｰｼｮﾝOP塗り一部5mmﾍﾞﾆﾔ目透しOP塗り 全 上 | ρ 9mm東洋吸音ﾗﾝﾀﾞﾞﾞﾙ 600×300 全 上 | 床Pﾀｲﾙ、接着剤 石綿含有 ｻﾞﾍﾞﾙ3 | | | |
| | 会 議 室 | 建設時 現況 | Pﾀｲﾙ 全上 石綿含有 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗り一部木製 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗りH=1,800一部ｽﾀｲﾛﾊﾞﾝｰﾃｰｼｮﾝOP塗り一部5mmﾍﾞﾆﾔ目透しOP塗り 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗りH=1,800一部ｽﾀｲﾛﾊﾞﾝｰﾃｰｼｮﾝOP塗り一部5mmﾍﾞﾆﾔ目透しOP塗り 全 上 | ρ 9mm東洋吸音ﾗﾝﾀﾞﾞﾞﾙ 600×300 全 上 | 床Pﾀｲﾙ、接着剤 石綿含有 ｻﾞﾍﾞﾙ3 | | | |
| | 特 殊 教 室 | 建設時 現況 | Pﾀｲﾙ 全上 石綿含有 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗り一部木製 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗りH=1,800一部ｽﾀｲﾛﾊﾞﾝｰﾃｰｼｮﾝOP塗り一部5mmﾍﾞﾆﾔ目透しOP塗り 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗りH=1,800一部ｽﾀｲﾛﾊﾞﾝｰﾃｰｼｮﾝOP塗り一部5mmﾍﾞﾆﾔ目透しOP塗り 全 上 | ρ 9mm東洋吸音ﾗﾝﾀﾞﾞﾞﾙ 600×300 全 上 | 床Pﾀｲﾙ、接着剤 石綿含有 ｻﾞﾍﾞﾙ3 | | | |
| | 家 庭 科 室 | 建設時 現況 | ｼｰﾑﾚｽﾌﾛｰｰ 全上 石綿含有 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗り一部木製 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗りH=1,800一部ｽﾀｲﾛﾊﾞﾝｰﾃｰｼｮﾝOP塗り一部6mm石綿板目透し 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗りH=1,800一部ｽﾀｲﾛﾊﾞﾝｰﾃｰｼｮﾝOP塗り一部6mm石綿板目透し 全 上 | ｼｰﾏｰﾄﾞ600×300×9 全 上 | 床Pﾀｲﾙ、接着剤 石綿含有 ｻﾞﾍﾞﾙ3 壁石綿板 見なし石綿含有 ｻﾞﾍﾞﾙ3 | | | |
| | 職 員 室 | 建設時 現況 | Pﾀｲﾙ 全上 石綿含有 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗り一部木製 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗りH=1,800一部ｽﾀｲﾛﾊﾞﾝｰﾃｰｼｮﾝOP塗り 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗りH=1,800一部ｽﾀｲﾛﾊﾞﾝｰﾃｰｼｮﾝOP塗り 全 上 | ｼｰﾏｰﾄﾞ600×300×9 全 上 | 床Pﾀｲﾙ、接着剤 石綿含有 ｻﾞﾍﾞﾙ3 | | | |
| | 校長・応接室 | 建設時 現況 | Pﾀｲﾙ 全上 石綿含有 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗り一部木製 全 上 | 布貼り 全 上 | 布貼り 全 上 | ｼｰﾏｰﾄﾞ600×300×9 全 上 | 床Pﾀｲﾙ、接着剤 石綿含有 ｻﾞﾍﾞﾙ3 | | | |
| | 印 刷 室 | 建設時 現況 | Pﾀｲﾙ 全上 石綿含有 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗り一部木製 全 上 | ｽﾀｲﾛﾊﾞﾝｰﾃｰｼｮﾝOP塗り 全 上 | ｽﾀｲﾛﾊﾞﾝｰﾃｰｼｮﾝOP塗り 全 上 | ρ 9mm東洋吸音ﾗﾝﾀﾞﾞﾞﾙ 600×300 全 上 | 床Pﾀｲﾙ、接着剤 石綿含有 ｻﾞﾍﾞﾙ3 | | | |
| | 放 送 室 | 建設時 現況 | Pﾀｲﾙ 全上 石綿含有 | 木製OP塗り 全 上 | ｽﾏｰﾄﾞ600×300×12 全 上 | ｽﾏｰﾄﾞ600×300×12 全 上 | ｽﾏｰﾄﾞ600×300×12 全 上 | 床Pﾀｲﾙ、接着剤 石綿含有 ｻﾞﾍﾞﾙ3 | | | |
| | 廊 下 （ 1 ） | 建設時 現況 | Pﾀｲﾙ 全上 石綿含有 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗り一部木製 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗りH=1,800一部ｽﾀｲﾛﾊﾞﾝｰﾃｰｼｮﾝOP塗り 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃﾌﾞﾗｽﾀｰ塗り一部ｽﾀｲﾛﾊﾞﾝｰﾃｰｼｮﾝOP塗り 全 上 | ρ 4.5mmﾍﾞﾆﾔﾀｲﾌﾟⅠｷﾞｸｽｲﾋﾙﾄﾝ 吹付 全 上 | 床Pﾀｲﾙ、接着剤 石綿含有 ｻﾞﾍﾞﾙ3 | | | |
| | 女子便所（1） | 建設時 現況 | ｴﾓﾞｲｸﾀｲﾙ貼り 全 上 | ｴﾓﾞｲｸﾀｲﾙ貼り 全 上 | ｴﾓﾞｲｸﾀｲﾙ貼りH=1,200 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃﾌﾞﾗｽﾀｰ塗り 全 上 | ρ 4mm石綿板ｴｸｽｲﾋﾙﾄﾝ 吹付 全 上 | | | | |
| | 男子便所（1） | 建設時 現況 | ｴﾓﾞｲｸﾀｲﾙ貼り 全 上 | ｴﾓﾞｲｸﾀｲﾙ貼り 全 上 | ｴﾓﾞｲｸﾀｲﾙ貼りH=1,200 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃﾌﾞﾗｽﾀｰ塗り 全 上 | ρ 4mm石綿板ｴｸｽｲﾋﾙﾄﾝ 吹付 全 上 | | | | |
| | 階 段 室 （ 1 ） | 建設時 現況 | Pﾀｲﾙ 全上 石綿含有 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗り 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃH=1,800一部ｽﾀｲﾛﾊﾞﾝｰﾃｰｼｮﾝOP塗り 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃH=1,800一部ｽﾀｲﾛﾊﾞﾝｰﾃｰｼｮﾝOP塗り 全 上 | ρ 4.5mmﾍﾞﾆﾔﾀｲﾌﾟⅠｷﾞｸｽｲﾋﾙﾄﾝ 吹付 全 上 | 床Pﾀｲﾙ、接着剤 石綿含有 ｻﾞﾍﾞﾙ3 | | | |
| 3階 | 生徒会・相談室 | 建設時 現況 | Pﾀｲﾙ 全上 石綿含有 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗り一部木製 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗りH=1,800一部ｽﾀｲﾛﾊﾞﾝｰﾃｰｼｮﾝOP塗り一部5mmﾍﾞﾆﾔ目透しOP塗り 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃﾌﾞﾗｽﾀｰ塗り一部ｽﾀｲﾛﾊﾞﾝｰﾃｰｼｮﾝOP塗り一部5mmﾍﾞﾆﾔ目透しOP塗り 全 上 | ρ 9mm東洋吸音ﾗﾝﾀﾞﾞﾞﾙ 600×300 全 上 | 床Pﾀｲﾙ、接着剤 石綿含有 ｻﾞﾍﾞﾙ3 | | | |
| | 音 楽 室 | 建設時 現況 | Pﾀｲﾙ 全上 石綿含有 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗り一部木製 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗りH=1,800一部ｽﾀｲﾛﾊﾞﾝｰﾃｰｼｮﾝOP塗り一部5mmﾍﾞﾆﾔ目透しOP塗り 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃﾌﾞﾗｽﾀｰ塗り一部ｽﾀｲﾛﾊﾞﾝｰﾃｰｼｮﾝOP塗り一部5mmﾍﾞﾆﾔ目透しOP塗り 全 上 | ρ 9mm東洋吸音ﾗﾝﾀﾞﾞﾞﾙ 600×300 全 上 | 床Pﾀｲﾙ、接着剤 石綿含有 ｻﾞﾍﾞﾙ3 | | | |
| | 図 書 館 | 建設時 現況 | Pﾀｲﾙ 全上 石綿含有 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗り一部木製 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗りH=1,800一部ｽﾀｲﾛﾊﾞﾝｰﾃｰｼｮﾝOP塗り一部5mmﾍﾞﾆﾔ目透しOP塗り 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃﾌﾞﾗｽﾀｰ塗り一部ｽﾀｲﾛﾊﾞﾝｰﾃｰｼｮﾝOP塗り一部5mmﾍﾞﾆﾔ目透しOP塗り 全 上 | ρ 9mm東洋吸音ﾗﾝﾀﾞﾞﾞﾙ 600×300 全 上 | 床Pﾀｲﾙ、接着剤 石綿含有 ｻﾞﾍﾞﾙ3 | | | |
| | 資 料 室 | 建設時 現況 | Pﾀｲﾙ 全上 石綿含有 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗り一部木製 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗りH=1,800一部ｽﾀｲﾛﾊﾞﾝｰﾃｰｼｮﾝOP塗り一部5mmﾍﾞﾆﾔ目透しOP塗り 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃﾌﾞﾗｽﾀｰ塗り一部ｽﾀｲﾛﾊﾞﾝｰﾃｰｼｮﾝOP塗り一部5mmﾍﾞﾆﾔ目透しOP塗り 全 上 | ρ 9mm東洋吸音ﾗﾝﾀﾞﾞﾞﾙ 600×300 全 上 | 床Pﾀｲﾙ、接着剤 石綿含有 ｻﾞﾍﾞﾙ3 | | | |
| | 準 備 室 （ 2 ） | 建設時 現況 | Pﾀｲﾙ 全上 石綿含有 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗り一部木製 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗りH=1,800一部ｽﾀｲﾛﾊﾞﾝｰﾃｰｼｮﾝOP塗り一部5mmﾍﾞﾆﾔ目透しOP塗り 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃﾌﾞﾗｽﾀｰ塗り一部ｽﾀｲﾛﾊﾞﾝｰﾃｰｼｮﾝOP塗り一部5mmﾍﾞﾆﾔ目透しOP塗り 全 上 | ρ 9mm東洋吸音ﾗﾝﾀﾞﾞﾞﾙ 600×300 全 上 | 床Pﾀｲﾙ、接着剤 石綿含有 ｻﾞﾍﾞﾙ3 | | | |
| | 理 科 室 | 建設時 現況 | Pﾀｲﾙ 全上 石綿含有 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗り一部木製 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗りH=1,800一部ｽﾀｲﾛﾊﾞﾝｰﾃｰｼｮﾝOP塗り一部5mmﾍﾞﾆﾔ目透しOP塗り 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃﾌﾞﾗｽﾀｰ塗り一部ｽﾀｲﾛﾊﾞﾝｰﾃｰｼｮﾝOP塗り一部5mmﾍﾞﾆﾔ目透しOP塗り 全 上 | ρ 9mm東洋吸音ﾗﾝﾀﾞﾞﾞﾙ 600×300 全 上 | 床Pﾀｲﾙ、接着剤 石綿含有 ｻﾞﾍﾞﾙ3 | | | |
| | ｺﾝﾋﾞｰｹﾞｰﾀｰ室 | 建設時 現況 | Pﾀｲﾙ 全上 石綿含有 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗り一部木製 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗りH=1,800一部ｽﾀｲﾛﾊﾞﾝｰﾃｰｼｮﾝOP塗り一部5mmﾍﾞﾆﾔ目透しOP塗り 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃﾌﾞﾗｽﾀｰ塗り一部ｽﾀｲﾛﾊﾞﾝｰﾃｰｼｮﾝOP塗り一部5mmﾍﾞﾆﾔ目透しOP塗り 全 上 | ρ 9mm東洋吸音ﾗﾝﾀﾞﾞﾞﾙ 600×300 全 上 | 床Pﾀｲﾙ、接着剤 石綿含有 ｻﾞﾍﾞﾙ3 | | | |
| | 廊 下 （ 2 ） | 建設時 現況 | Pﾀｲﾙ 全上 石綿含有 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗り一部木製 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃEmp塗りH=1,800一部ｽﾀｲﾛﾊﾞﾝｰﾃｰｼｮﾝOP塗り 全 上 | モルタル金ｺﾞﾃﾌﾞﾗｽﾀｰ塗り一部ｽﾀｲﾛﾊﾞﾝｰﾃｰｼｮﾝOP塗り一部5mmﾍﾞﾆﾔ目透しOP塗り 全 上 | ρ 9mm東洋吸音ﾗﾝﾀﾞﾞﾞﾙ 600×300 全 上 | 床Pﾀｲﾙ、接着剤 石綿含有 ｻﾞﾍﾞﾙ3 | | | |
| | 女子便所（2） | 建設時 現況 | ｴﾓ | | | | | | | | |





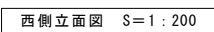
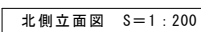
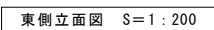
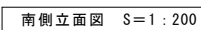
3階平面図 S=1:200


| 凡例 | |
|----|-------------|
| | 鉄筋コンクリート造 |
| | コンクリートブロック造 |
| | 木軸壁 |

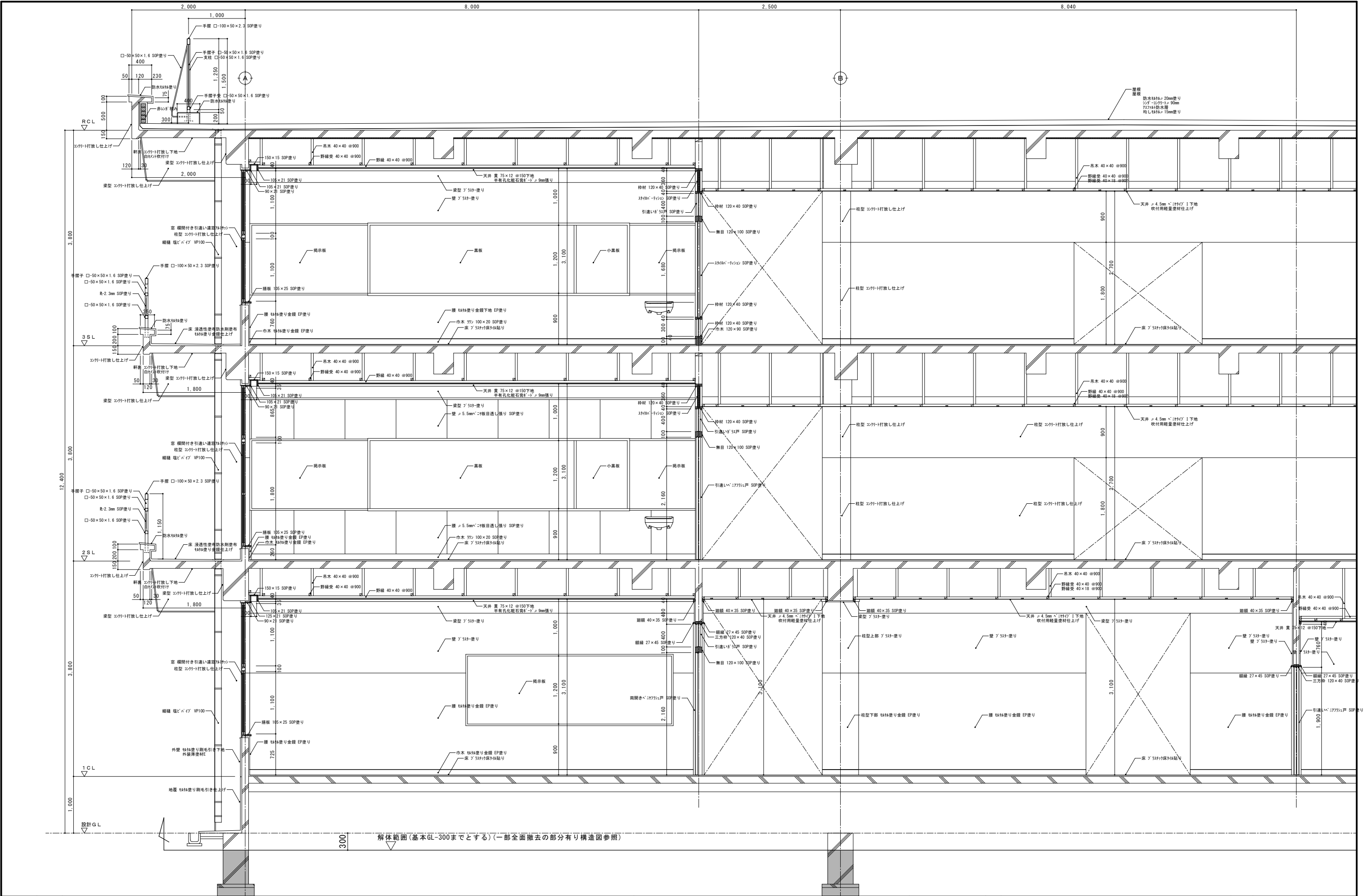


ペントハウス・屋上平面図 S=1:200

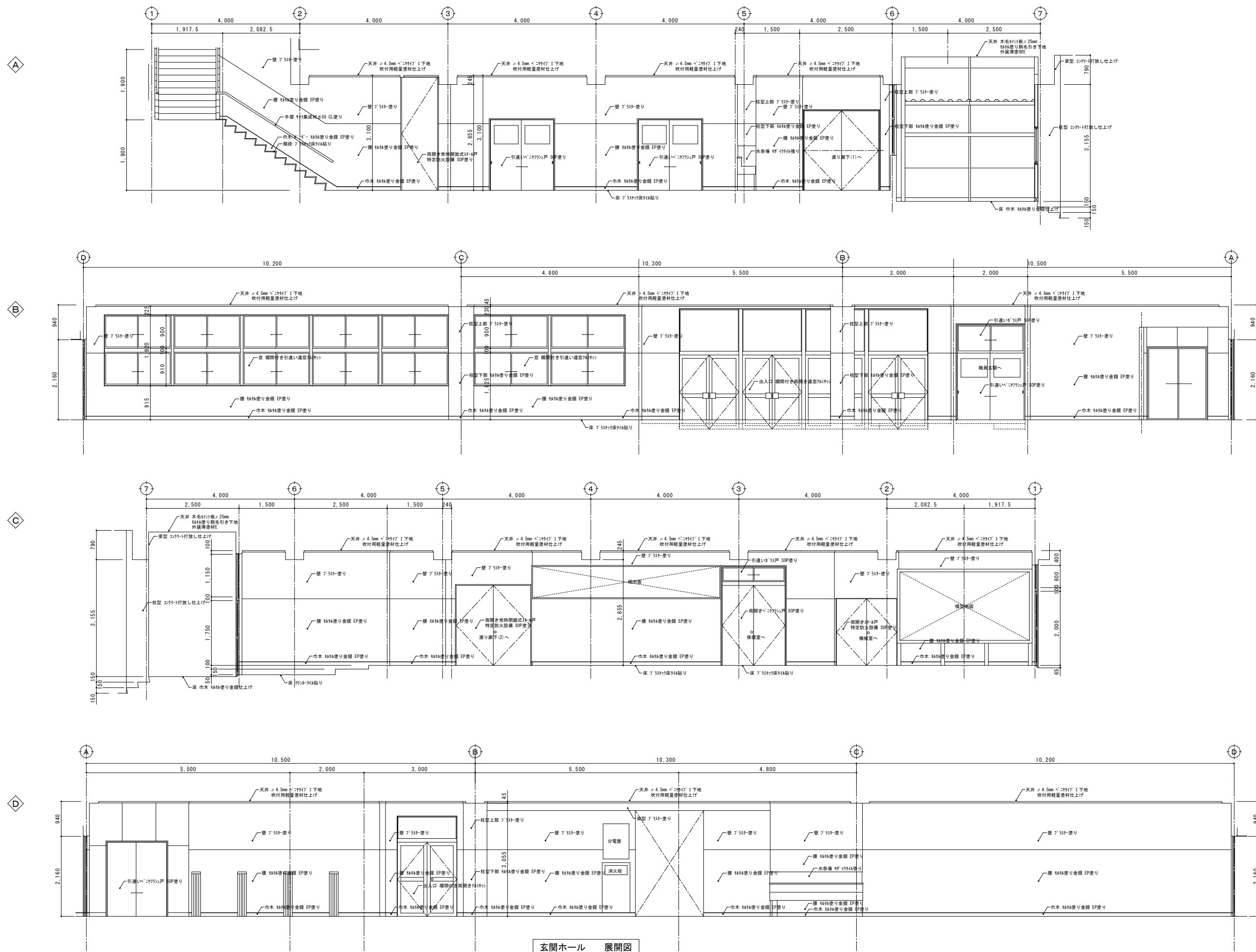
| | | | | | | | | | |
|----|--|--|--------------------|------------------------------|---|-----------------------------|-----------------|-------------|--------------|
| 備考 | | 有限会社 サクライ 設計 新潟県魚沼市小出島1209番地16 (小出東町) 一級建築士事務所登録(Ⅰ)第1925号 TEL 025-792-3586・FAX 792-9990 一級建築士登録 第212355号 管理建築士 浅井 守 人 | 設計者等 氏名 五十嵐 正 充 | 建築士登録番号等 一級建築士登録 第129518号 | 印 | 工事名称 旧入広瀬中学校等解体撤去工事 | 年月日 2025. 11 | 縮尺 1/200 | 図面番号 A-03 |
| | | | | | | 図面名称 3階・ペントハウス屋上平面図(校舎棟) | | | |
| | | | | | | | | | |




| | | | | | | | | | |
|----|--|---|---------|------------------|---|----------------|-----|----------|---|
| 備考 | |  有限会社 サクライ 設計 新潟県魚沼市小出島1209番地16 (小出東町) 一級建築士事務所登録(9)第1925号 TEL 025-792-3586・FAX 792-9990 一級建築士登録 第212355号 管理建築士 浅井 守人 | 設計者等 氏名 | 建築士登録番号等 | 印 | 工事名称 | 年月日 | 2025. 11 | 図面番号 A-04 |
| | | | 五十嵐正充 | 一級建築士登録 第129518号 | | 旧入広瀬中学校等解体撤去工事 | | | |
| | | | | | | 図面名称 | 縮尺 | 1/200 | <input checked="" type="checkbox"/> 電 <input type="checkbox"/> 機 |
| | | | | | | 立面図(校舎棟) | | | |

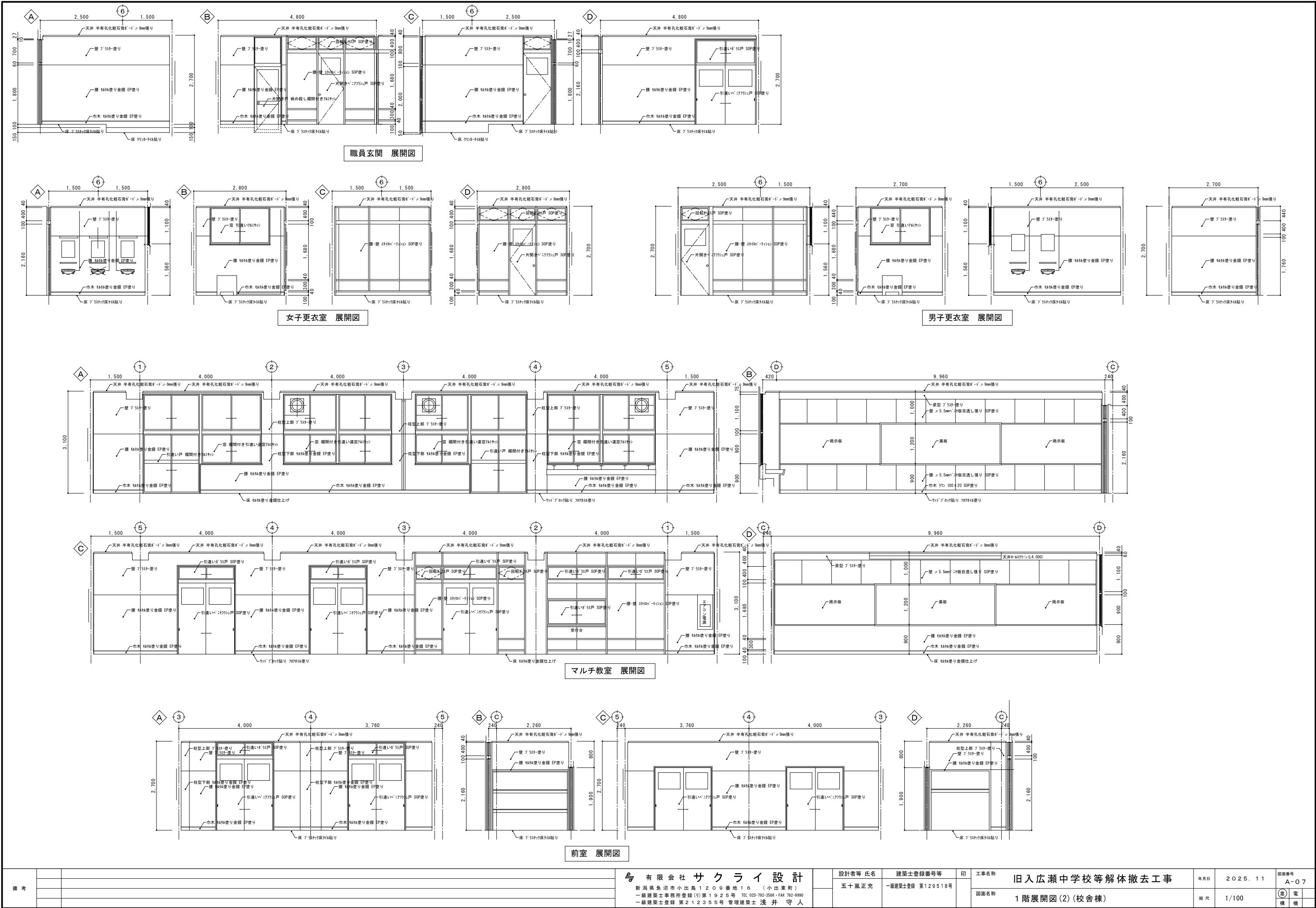


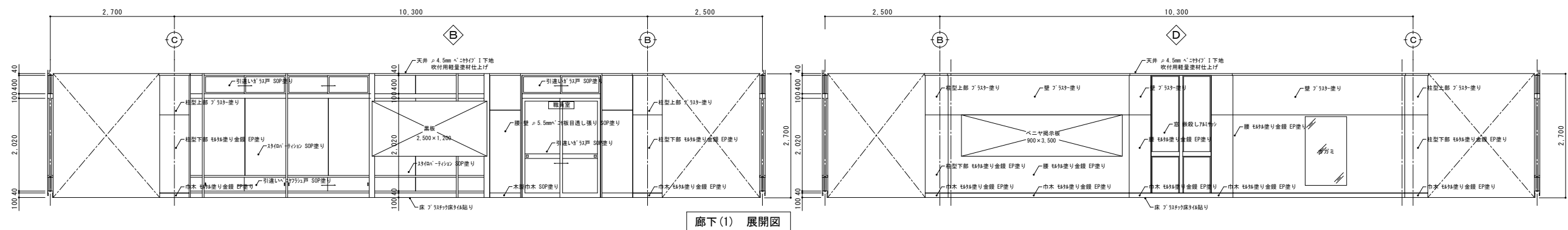
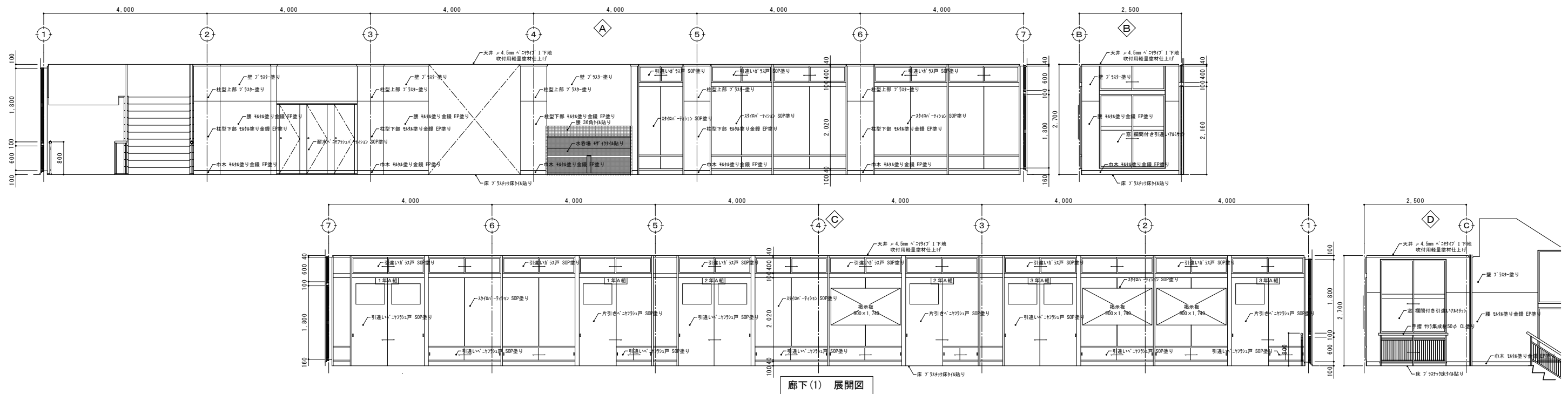
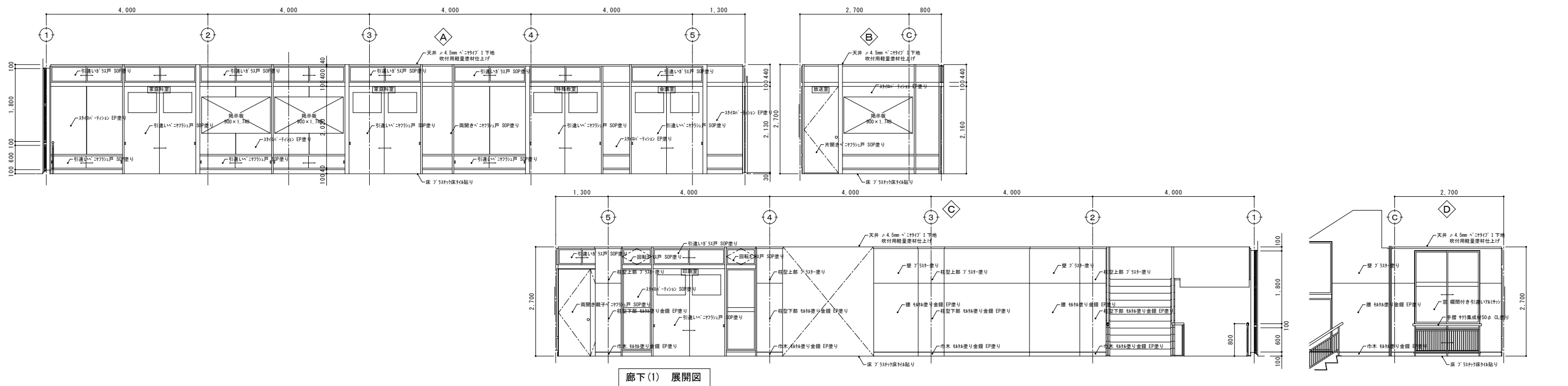
| | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|--|--|--|--|---------|----------|----------|------------------|---|------|----------------|-----|----------|------|------|
| 備考 | <div>有限会社サクラ設計</div> <div>新潟県魚沼市小出島1209番地16 (小出東町)</div> <div>一級建築士事務所登録(Ⅱ)第1925号 TEL 025-792-3586・FAX 792-9990</div> <div>一級建築士登録 第212355号 管理建築士 浅井 守 人</div> | | | | 設計者等 氏名 | 五十嵐 正 充 | 建築士登録番号等 | 一級建築士登録 第129518号 | 印 | 工事名称 | 旧入込瀬中学校等解体撤去工事 | 年月日 | 2025. 11 | 図面番号 | A-05 |
| | | | | | 図面名称 | 矩計図(校舎棟) | 縮尺 | 1/60 | 電 | 機 | | | | | |

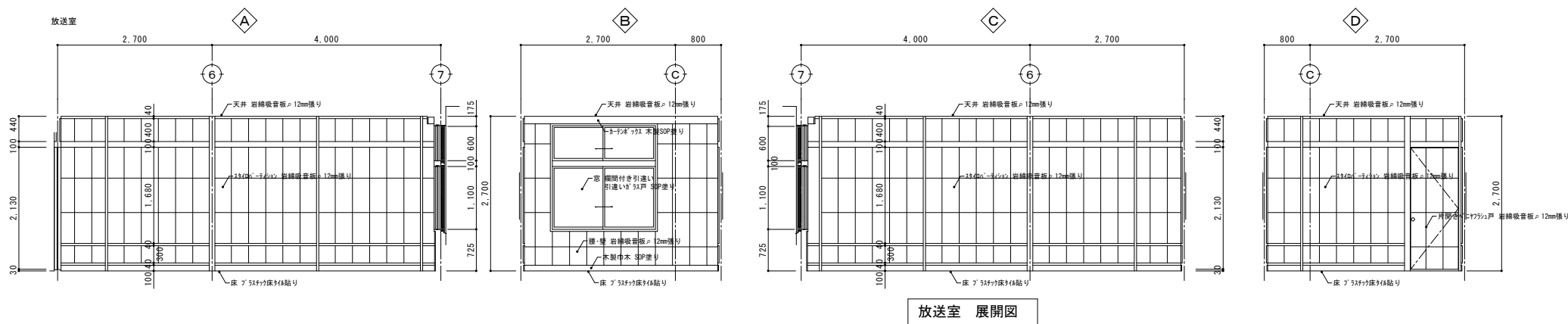
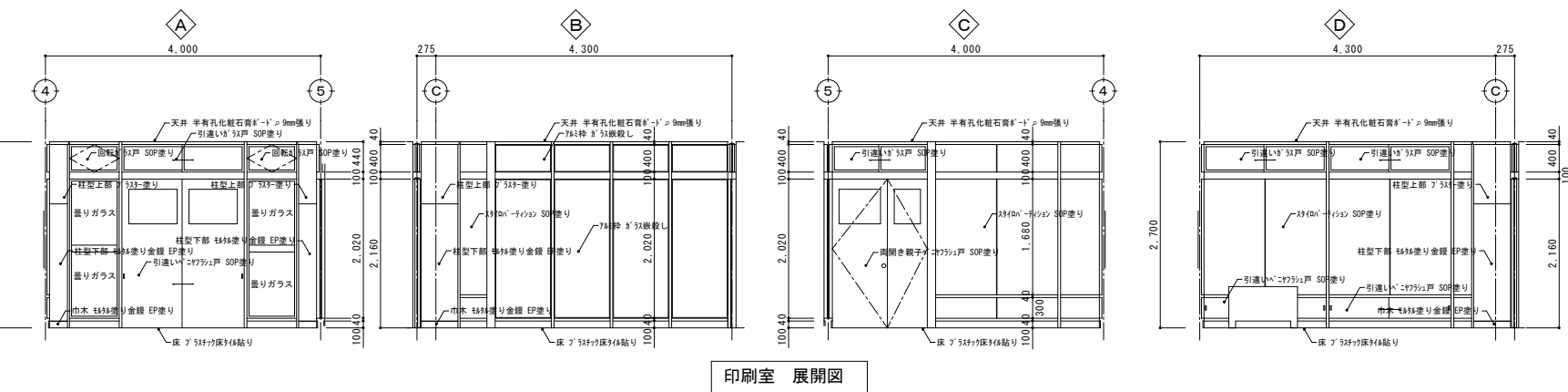
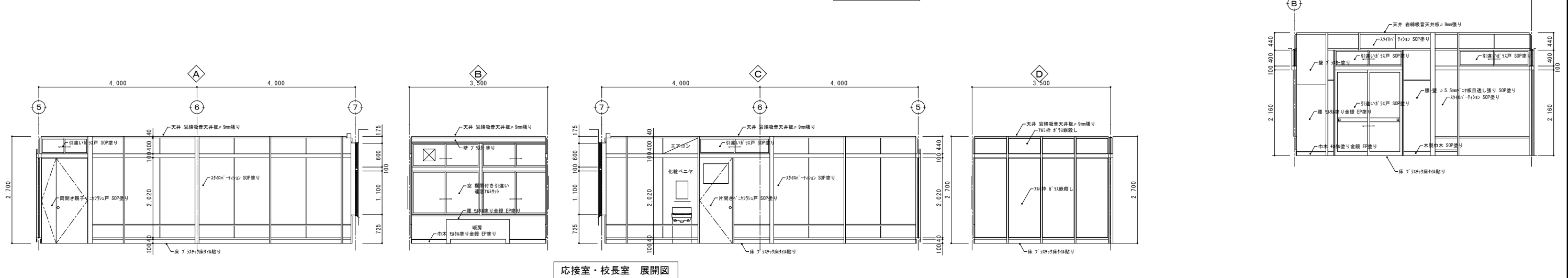
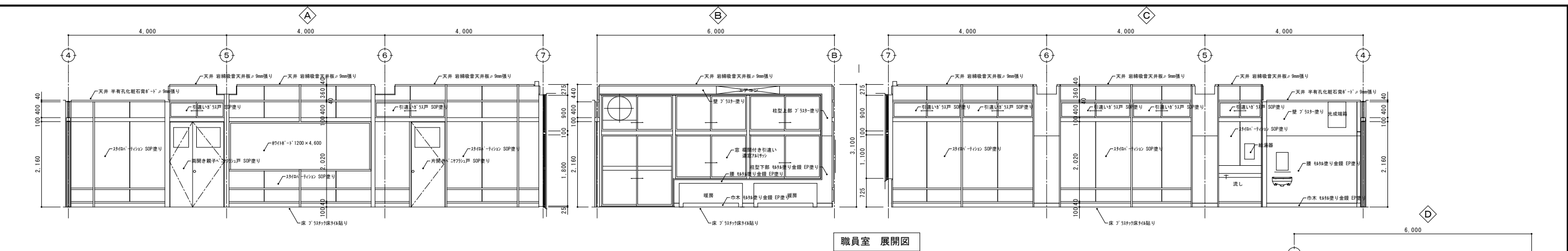



玄関ホール 展開図

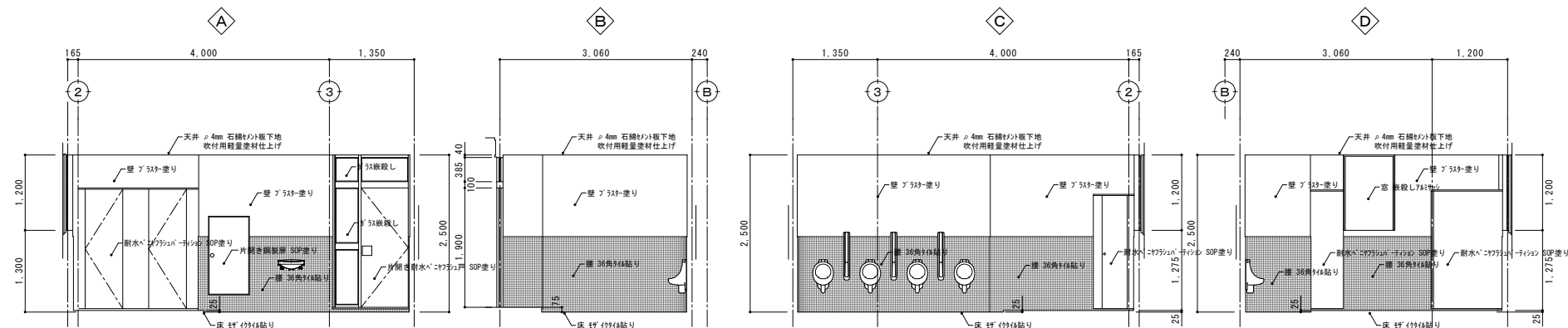
| | | | | | | | | |
|----|--|---|--------|------------------|------|----------------|---------|------|
| 備考 | |  有 限 公 司 サ ク ラ イ デ ィ ャ ー 新潟県魚沼市小出島1209番地16（小出東町） 一級建築士事務所登録(特)第1925号 TEL 025-792-3586・FAX 792-9990 一級建築士登録 第212355号 管理建築士 浅井守人 | 設計者等氏名 | 建築士登録番号等 | 印 | 工事名称 | 年月日 | 図面番号 |
| | | | 五十嵐正充 | 一級建築士登録 第129518号 | | 旧入広瀬中学校等解体撤去工事 | 2025.11 | A-06 |
| | | | | | 図面名称 | 構尺 | 1/100 | 電機 |
| | | | | | | 1階展開図(1)(校舎棟) | | 機 |



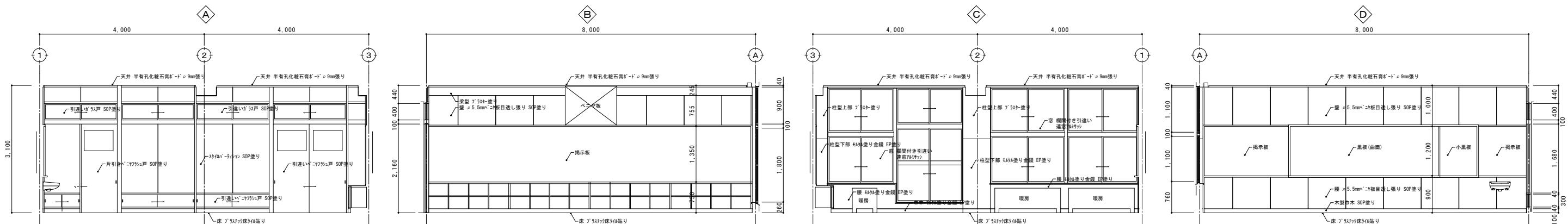




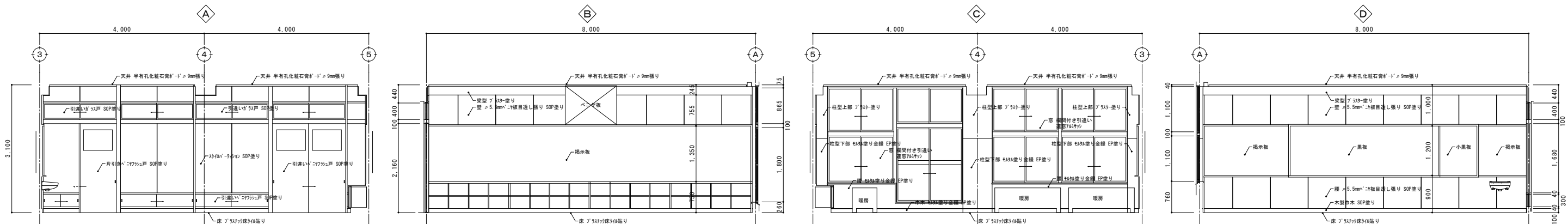
| | | | | | | | | | |
|-----|--|--|---------|------------------|---|----------------|-----|----------|--|
| 備 考 | | <div> 有 限 会 社 サ ク ラ イ 設 計</div> <div>新潟県魚沼市小出島1209番地16（小出東町）</div> <div>一級建築士事務所登録(第)第1925号 TEL 025-792-3586・FAX 792-9990</div> <div>一級建築士登録 第212355号 管理建築士 浅 井 守 人</div> | 設計者等 氏名 | 建築士登録番号等 | 印 | 工事名称 | 年月日 | 2025. 11 | 図面番号 |
| | | | 五十嵐正充 | 一級建築士登録 第129518号 | | 旧入広瀬中学校等解体撤去工事 | | | A-10 |
| | | | | | | 図面名称 | 格 尺 | 1/100 | <div><input checked="" type="checkbox"/> 意 <input type="checkbox"/> 電 <input type="checkbox"/> 機</div> |
| | | | | | | 2階展開図(2)(校舎棟) | | | |



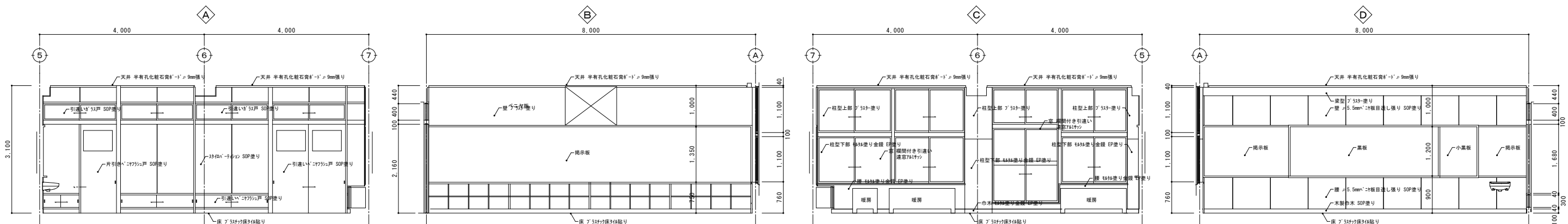
男子便所(1) 展開図



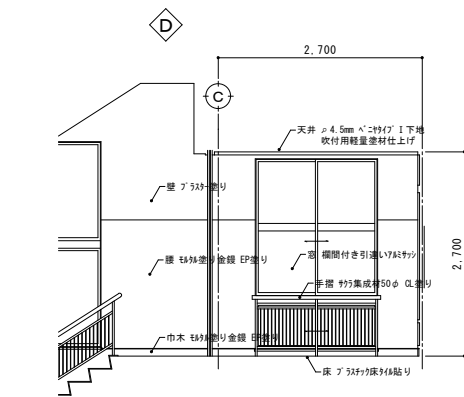
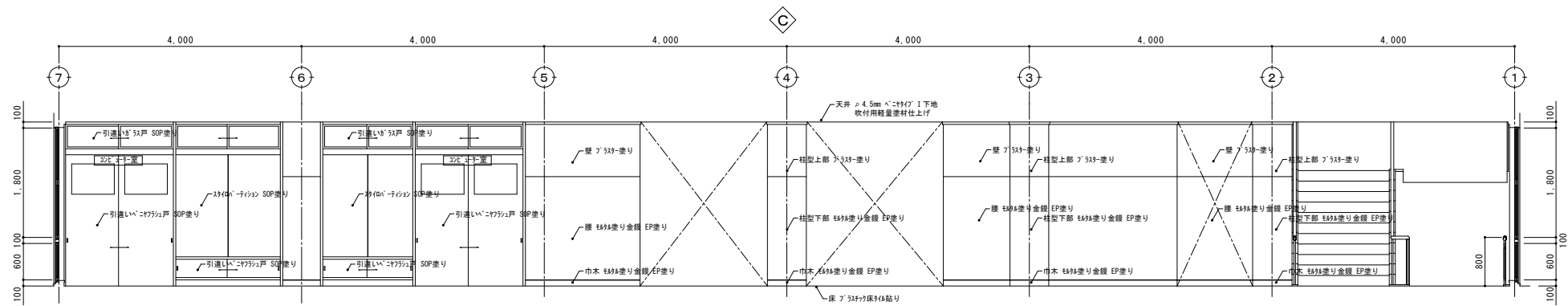
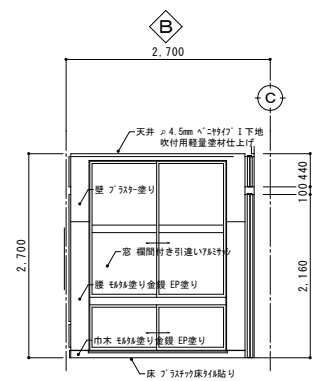
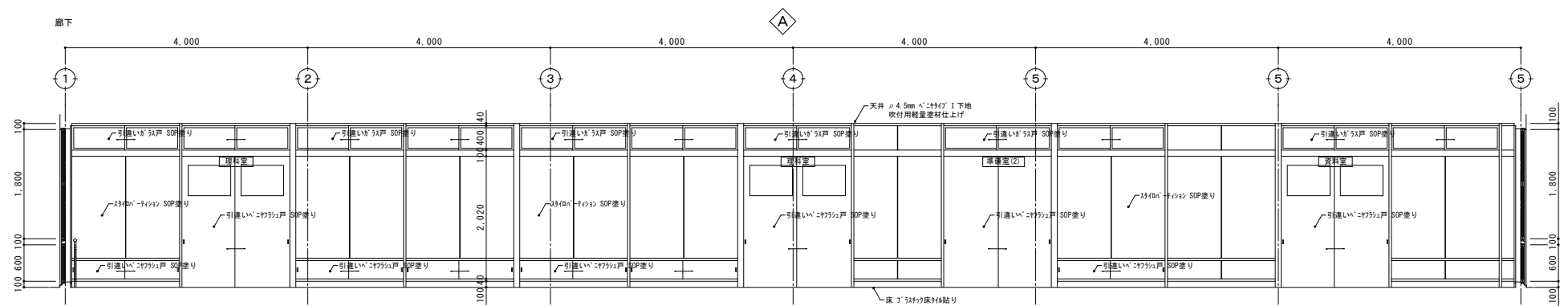
3年A組 展開図



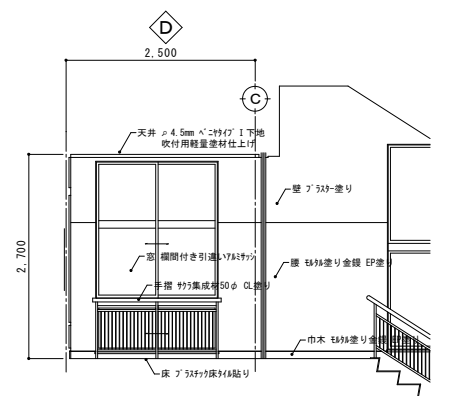
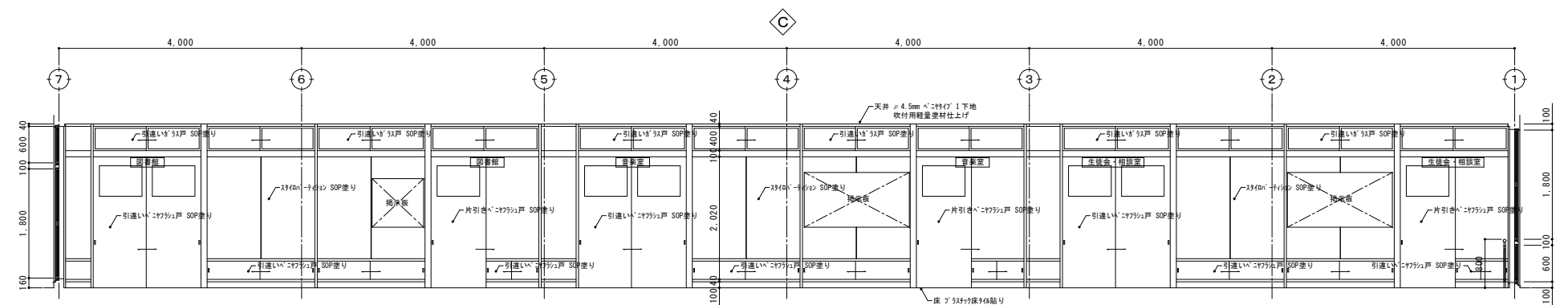
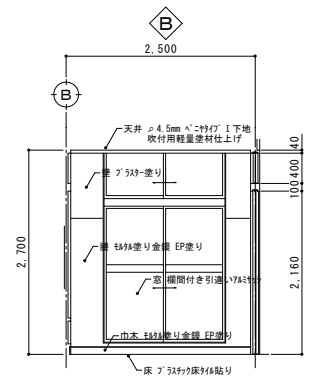
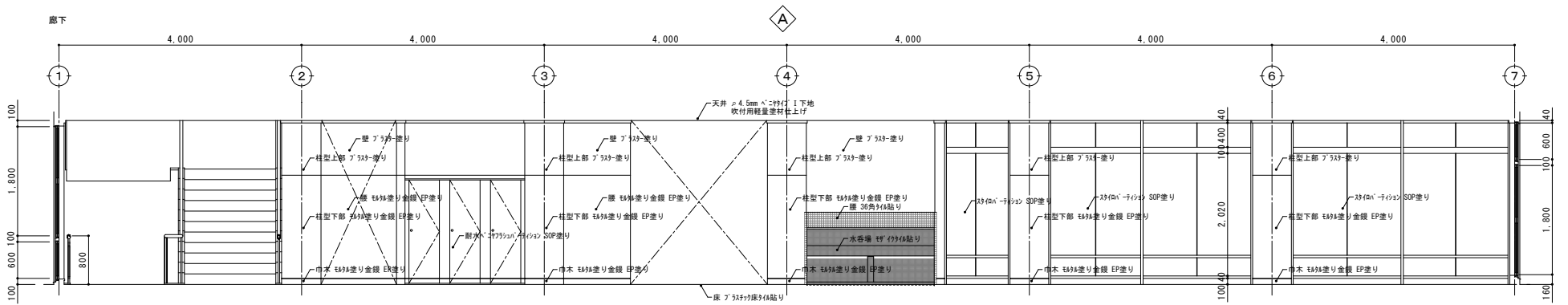
2年A組 展開図



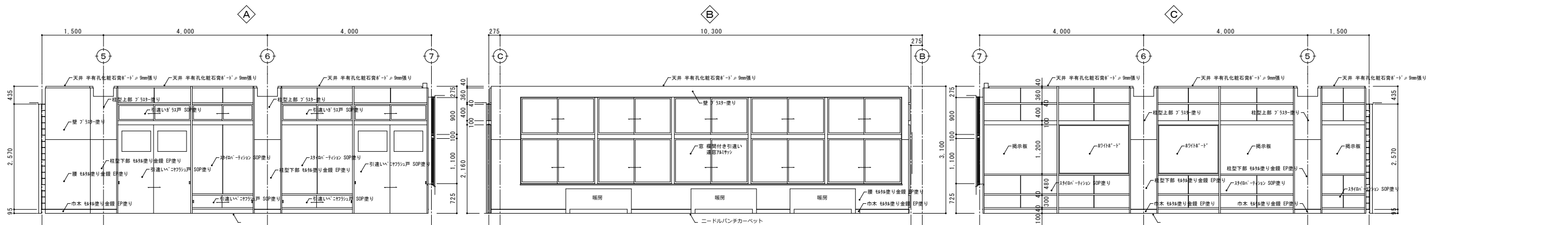
1年A組 展開図



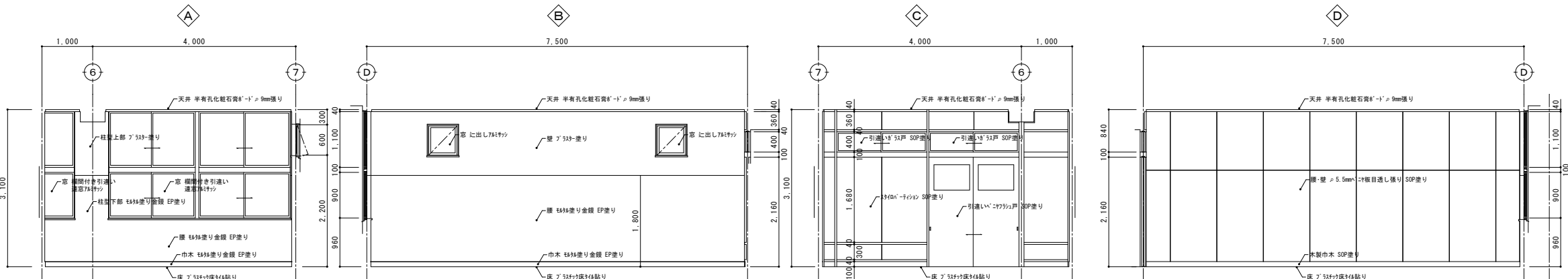
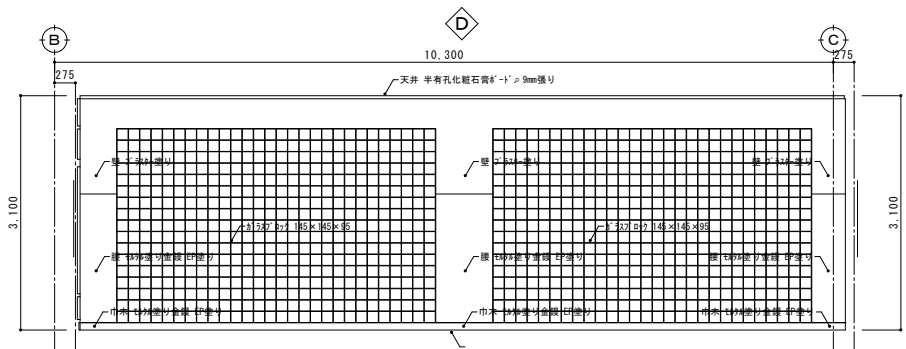
廊下(2) 展開図



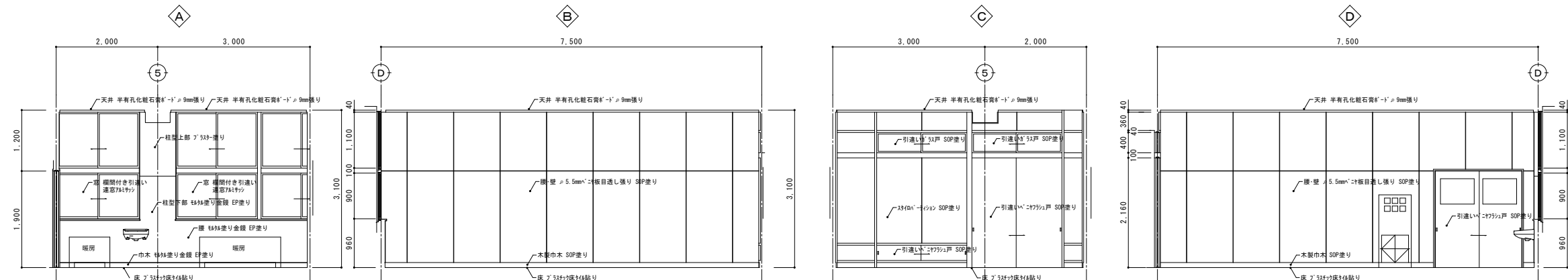
廊下(2) 展開図



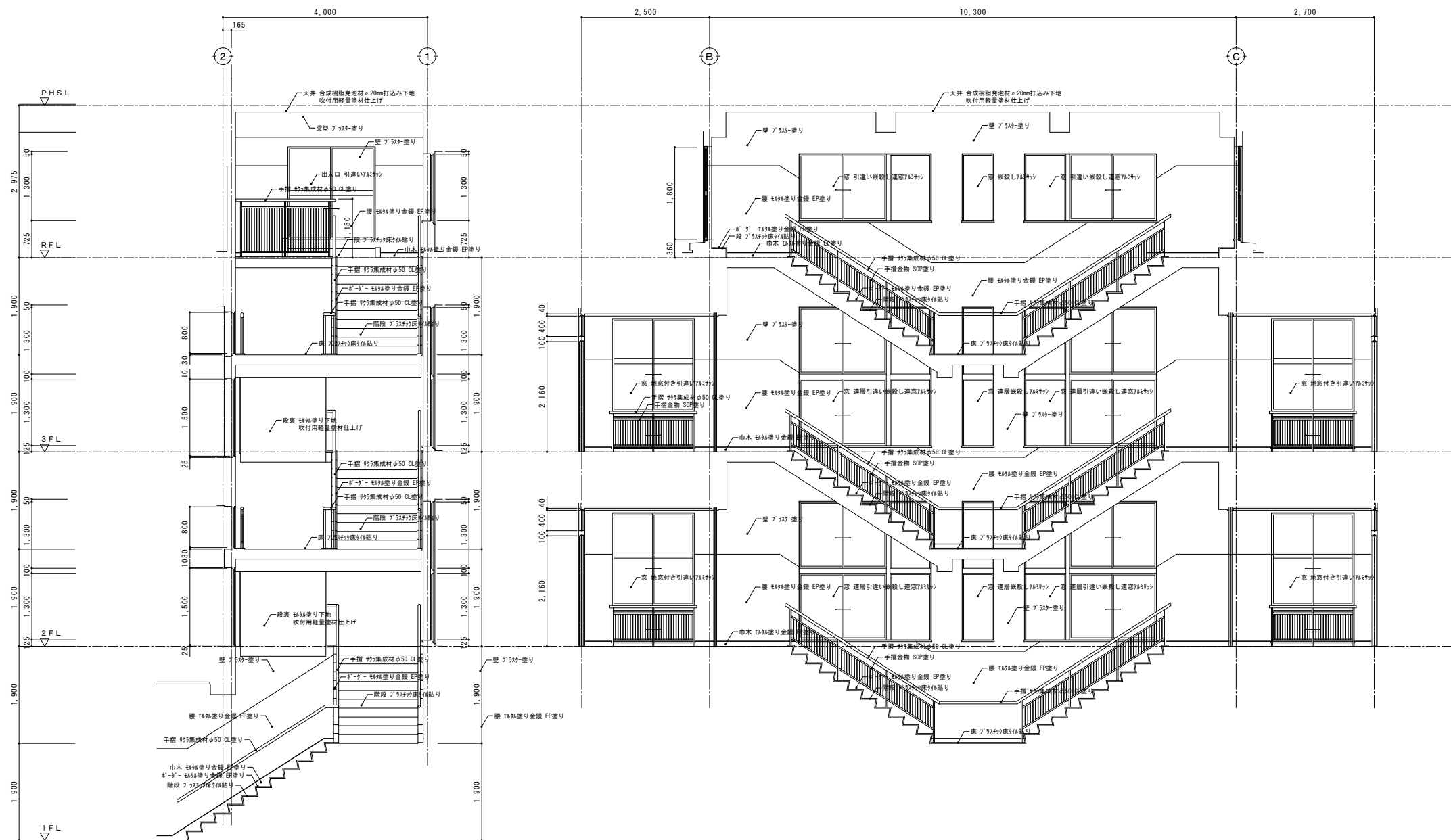
3階展示室 展開図

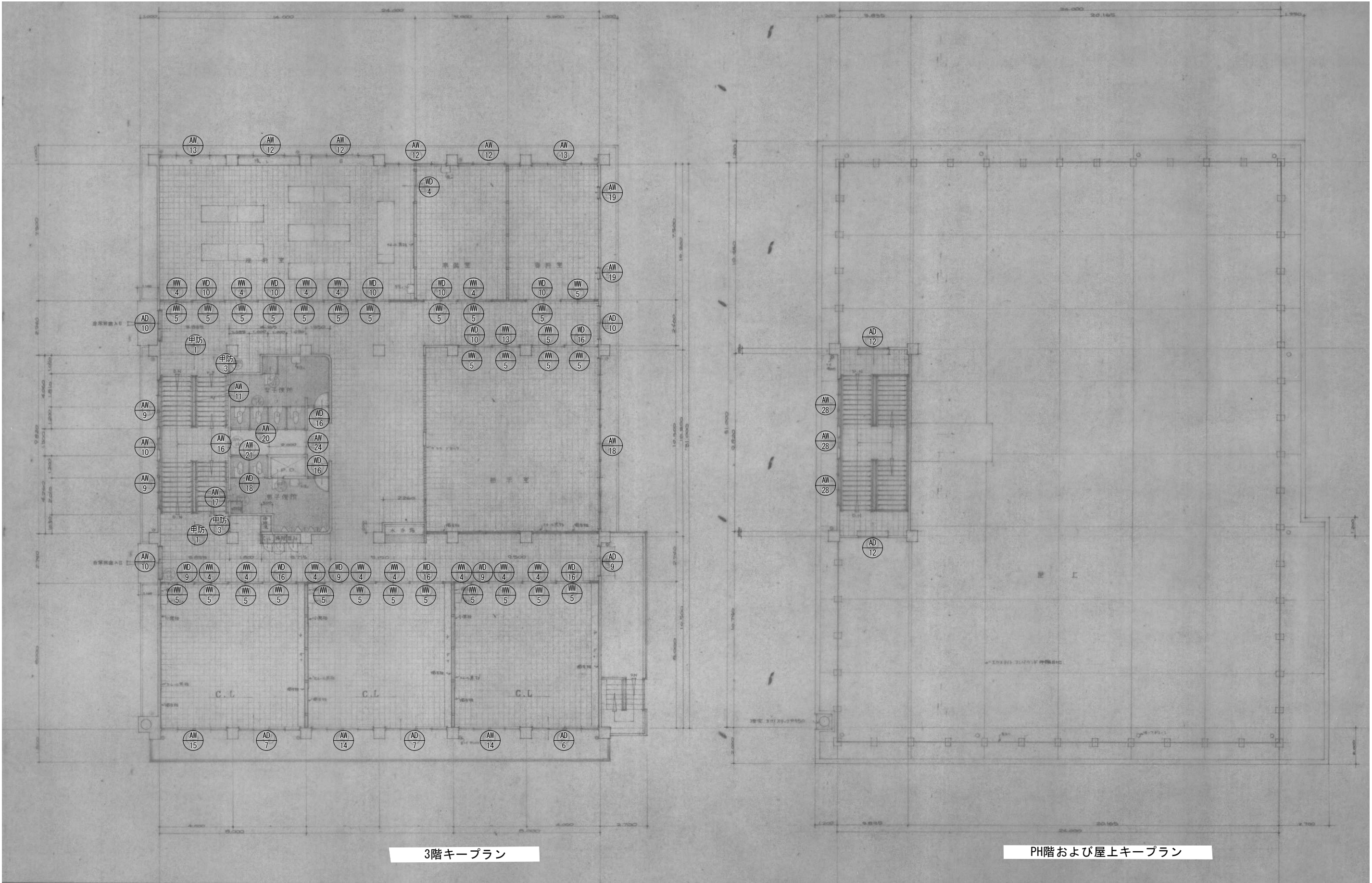


資料室 展開図



準備室(2) 展開図

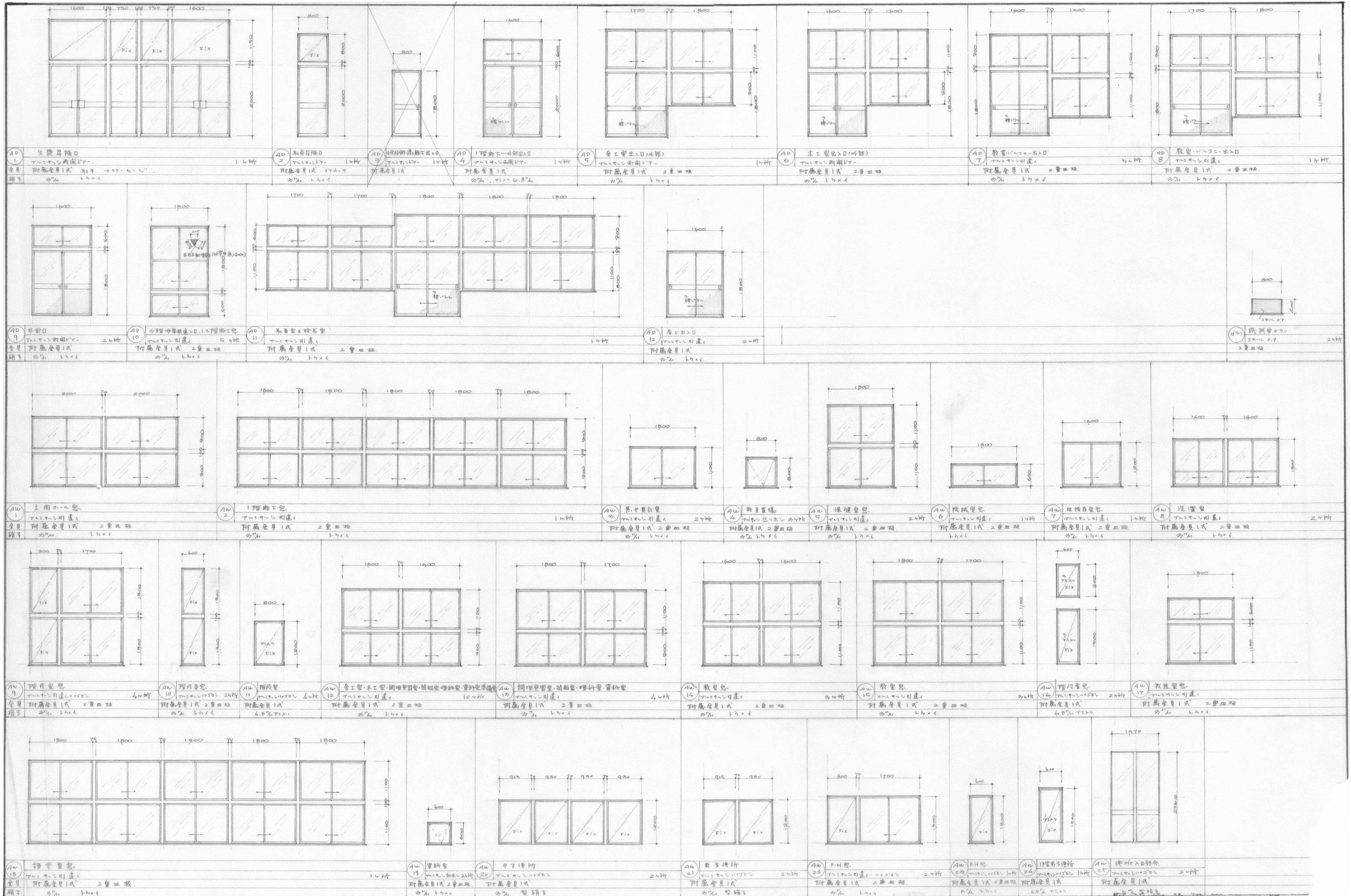


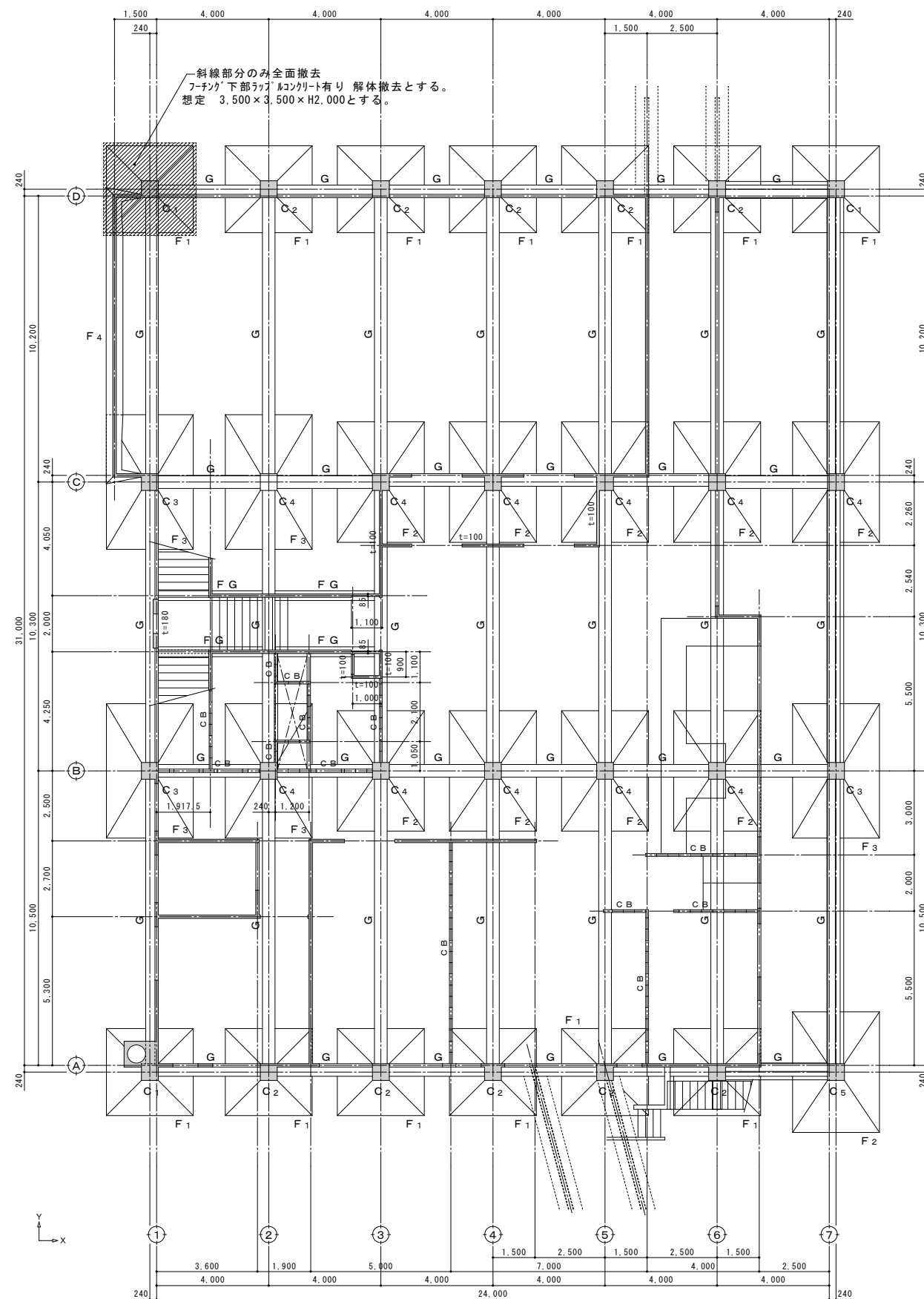


3階キープラン

PH階および屋上キープラン

| | | | | | | | | | | | |
|-----|---------------------------------|------------------|--|--------------------|---------------------------------|---|------------|----------------|-----|-----------------|--------------|
| 備 考 | | | 有 限 公 司 サ ク ラ イ 設 計 新 潟 県 魚 沼 市 小 出 島 1 2 0 9 番 地 1 6 （ 小 出 東 町 ） 一 級 建 築 士 事 務 所 登 録 (Ⅰ) 第 1 9 2 5 号 TEL 025-792-3586・FAX 792-9990 一 級 建 築 士 登 録 第 2 1 2 3 5 5 号 管 理 建 築 士 浅 井 守 人 | 設計者等 氏名 五十嵐 正 充 | 建築士登録番号等 一級建築士登録 第129518号 | 印 | 工事名称 | 旧入広瀬中学校等解体撤去工事 | 年月日 | 2 0 2 5 . 1 1 | 図面番号 A-19 |
| | 図面名称 | | | | | | | | | | |
| | 3 階 ・ P H 階 キ ー プ ラ ン (校 舎 棟) | 縮 尺 1 / 2 0 0 | | | | | 電 機 構 機 | | | | |

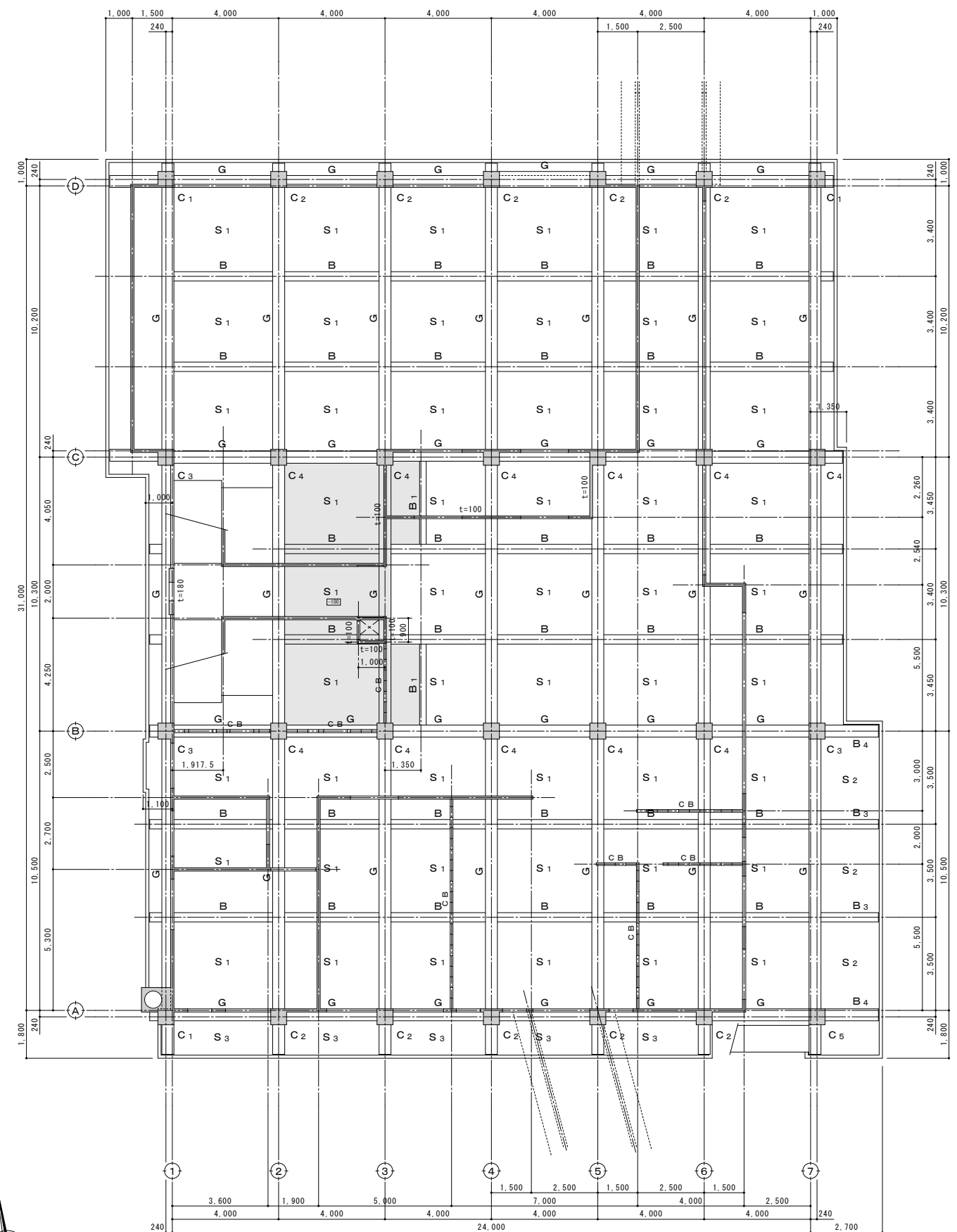




※基本GL-300まで、解体撤去とする。斜線部分のみ全面撤去

基礎伏図 S=1:200

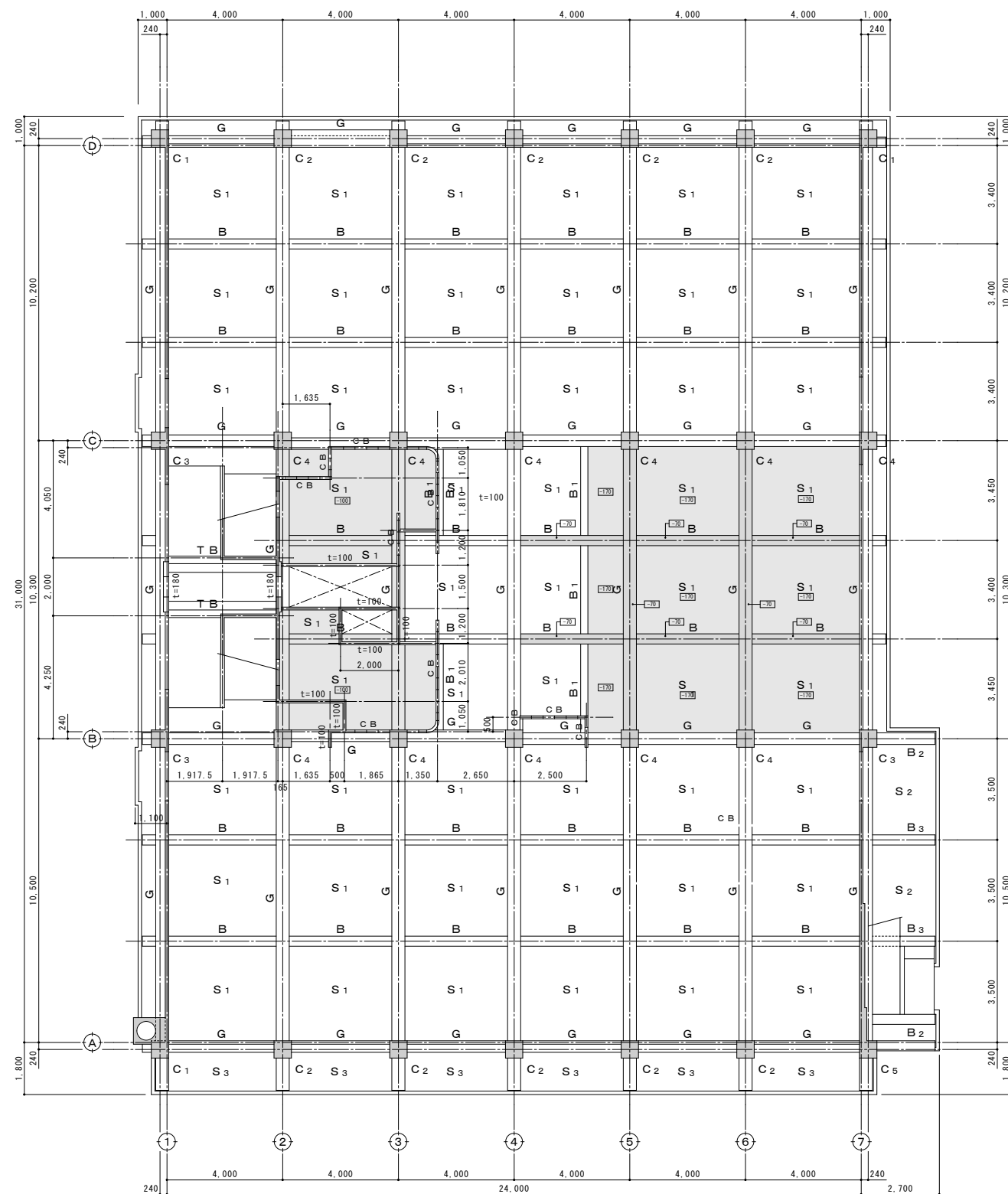
1. 特記なき壁は $t=120$ とする。
2. 梁記号は、各通り一軸を断面リスト番号とし表記は省く。
3. 1階床は、土間コンクリートとする。



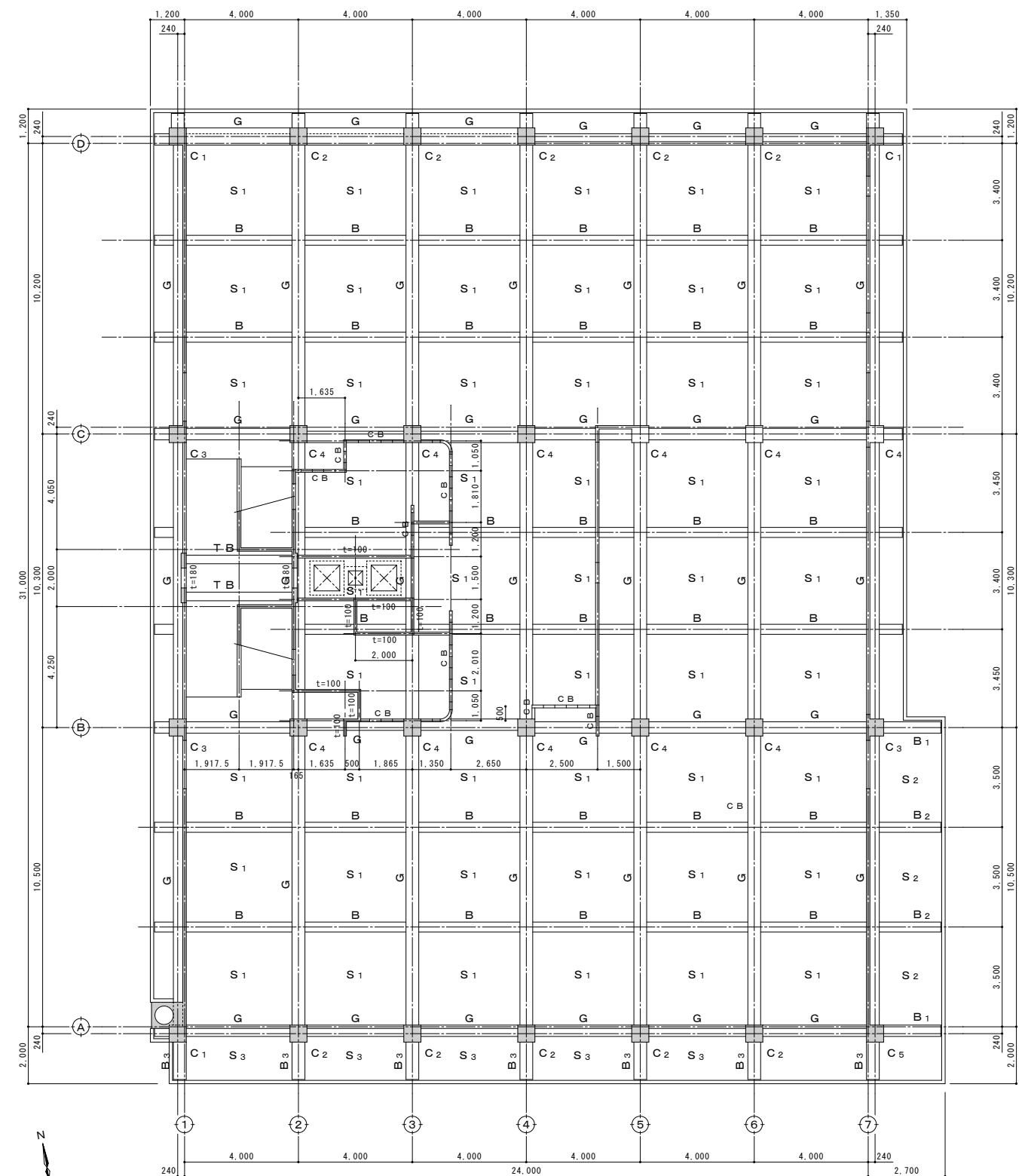
1 階柱 2 階床伏図 S=1 : 200

1. 特記なき壁は $t=120$ とする。
2. 梁記号は、各通り一軸を断面リスト番号とし表記は省く。


| | | | | | | | | | |
|----|--|---|---------|------------------|------|--------------------|-------|----------|------|
| 備考 | | 有限会社 サクライ 設計 新潟県魚沼市小出島1209番地16 (小出東町) 一級建築士事務所登録(特)第1925号 TEL 025-792-3586・FAX 792-9990 一級建築士登録 第212355号 管理建築士 浅井 守人 | 設計者等 氏名 | 建築士登録番号等 | 印 | 工事名称 | 年月日 | 2025. 11 | 図面番号 |
| | | | 五十嵐正充 | 一級建築士登録 第129518号 | | 旧入広瀬中学校等解体撤去工事 | | AK-01 | |
| | | | | | 図面名称 | 縮尺 | 1/200 | 意 電 | |
| | | | | | | 基礎伏図・1階柱2階床伏図(校舎棟) | | | (横) |




1. 特記なき壁は $t=120$ とする。
2. 梁記号は、各通り一軸を断面リスト番号とし表記は省く。



1. 特記なき壁は $t=120$ とする。
2. 梁記号は、各通り一軸を断面リスト番号とし表記は省く。

| | | | | | | | | | |
|-----|--|---|---------|------------------|------|------------------------|-----|----------|------------|
| 備 考 | |  有 限 会 社 サ ク ラ イ 設 計 新潟県魚沼市小出島1209番地16 (小出東町) 一級建築士事務所登録(伊)第1925号 TEL 025-792-3586・FAX 792-9990 一級建築士登録 第212355号 管理建築士 浅井 守 人 | 設計者等 氏名 | 建築士登録番号等 | 印 | 工事名称 | 年月日 | 2025. 11 | 図面番号 |
| | | | 五十嵐正充 | 一級建築士登録 第129518号 | | 旧入広瀬中学校等解体撤去工事 | | | AK-02 |
| | | | | | 図面名称 | 2階柱3階床伏図・3階柱R階床伏図(校舎棟) | 縮尺 | 1/200 | 意 電 (機) |


 有限会社 サクライ設計
 新潟県魚沼市小出島1209番地16 (小出東町)
 一級建築士事務所登録(Ⅱ)第1925号 TEL 025-792-3586 FAX 792-9990
 一級建築士登録 第212355号 管理建築士 浅井 守人

| | |
|---------|------------------|
| 設計者等 氏名 | 建築士登録番号等 |
| 五十嵐正充 | 一級建築士登録 第129518号 |

建築士登録番号等
一級建築士登録 第129518号

| | |
|----|--|
| Ep | |
| | |


| | |
|------|------------------------|
| 工事名称 | 旧入広瀬中学校等解体撤去工事 |
| 図面名称 | 2階柱3階床伏図・3階柱R階床伏図(校舎棟) |

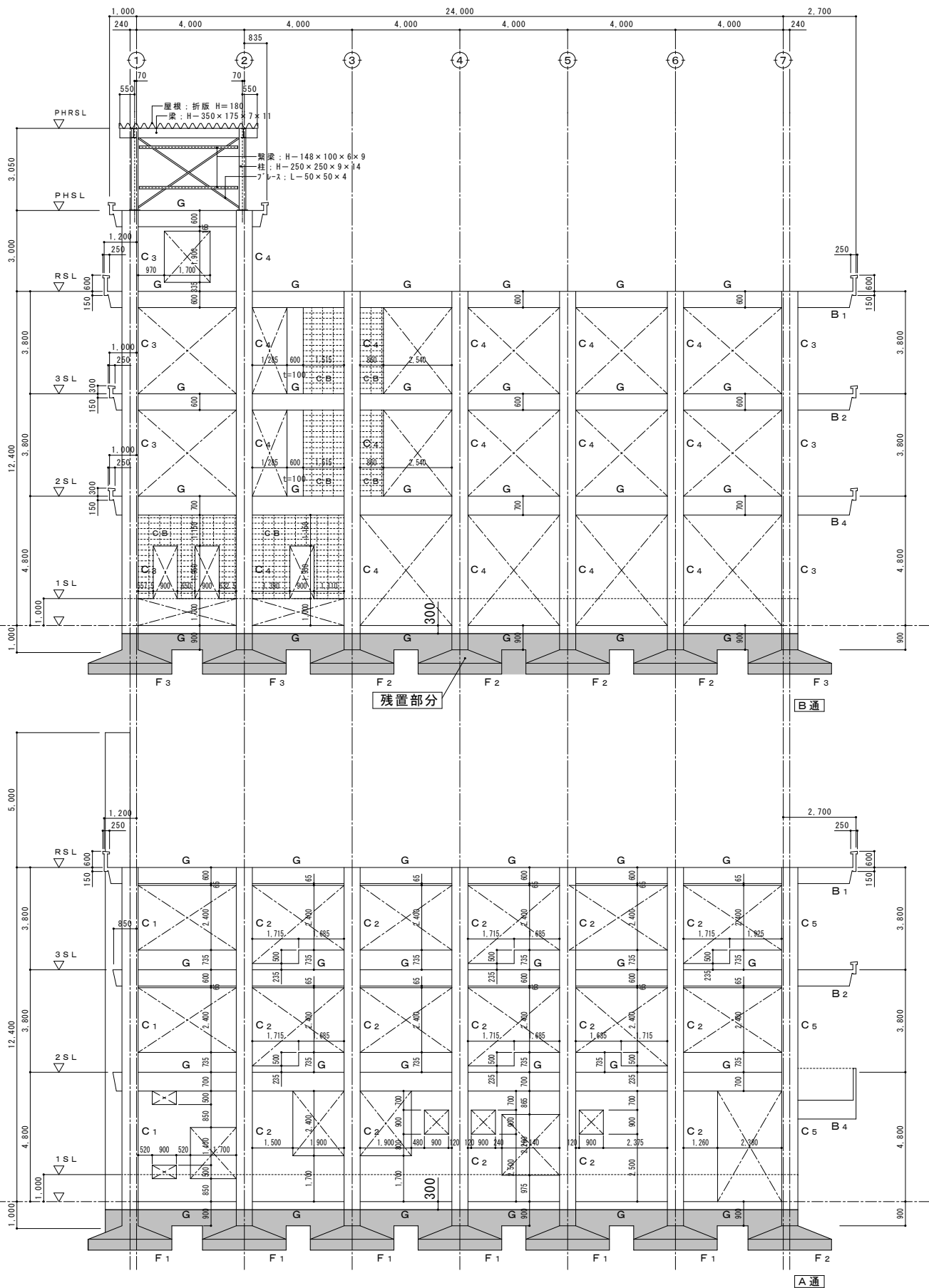
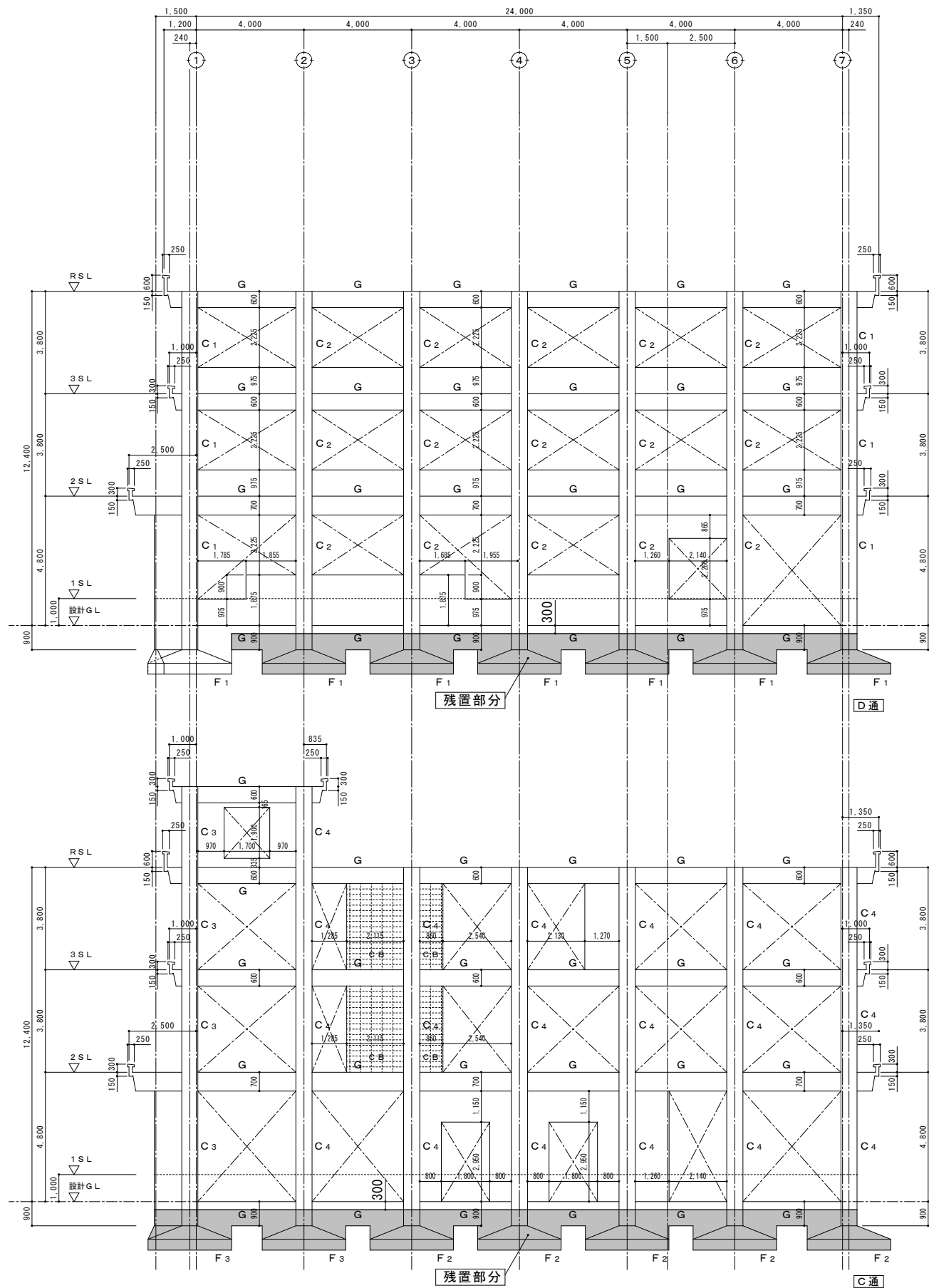
| | |
|-----|----------|
| 年月日 | 2025. 11 |
| 縮尺 | 1/200 |

| | | | |
|------|---|-------|--|
| 図面番号 | | AK-02 | |
| 意 | 電 | | |
| (構) | 機 | | |

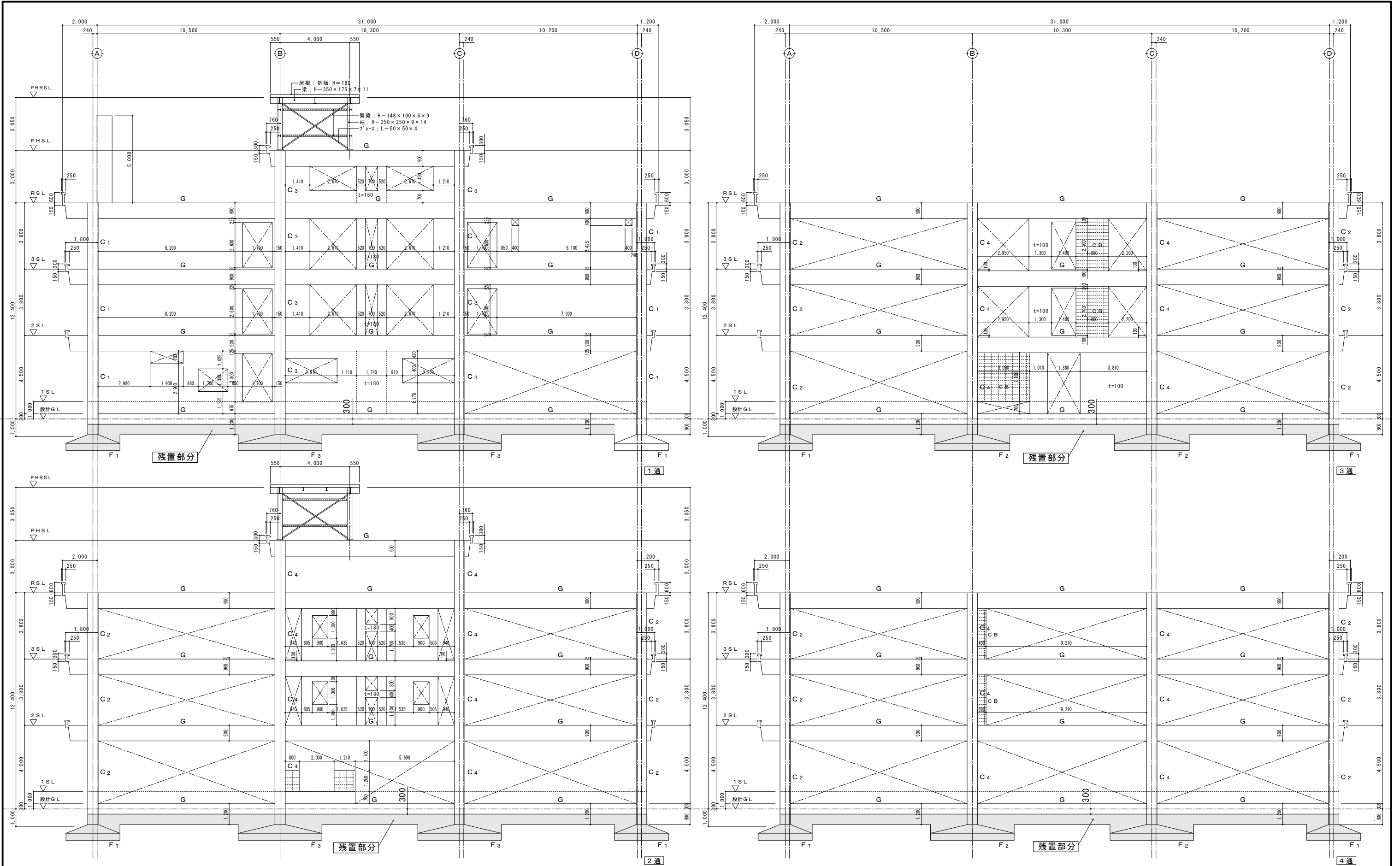
[illegible]

1. 特記なき壁は $t=120$ とする。
2. 梁記号は、各通り一軸を断面リスト番号とし表記は省く。


| | | | | | | | | | | |
|-----|--|---|---------|------------------|---|-----------------------|----------------|-------|----------|--------------|
| 備 考 | |  有 限 会 社 サ ク ラ イ デ ィ ン グ 新潟県魚沼市小出島1209番地16 (小出東町) 一級建築士事務所登録(特)第1925号 TEL 025-792-3586・FAX 792-9990 一級建築士登録 第212355号 管理建築士 浅井 守 人 | 設計者等 氏名 | 建築士登録番号等 | 印 | 工事名称 | 旧入広瀬中学校等解体撤去工事 | 年月日 | 2025. 11 | 図面番号 |
| | | | 五十嵐正充 | 一級建築士登録 第129518号 | | 図面名称 | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | R階柱PH階床伏図・水槽上屋伏図(校舎棟) | 縮 尺 | 1/200 | | 意 電 (機 機) |

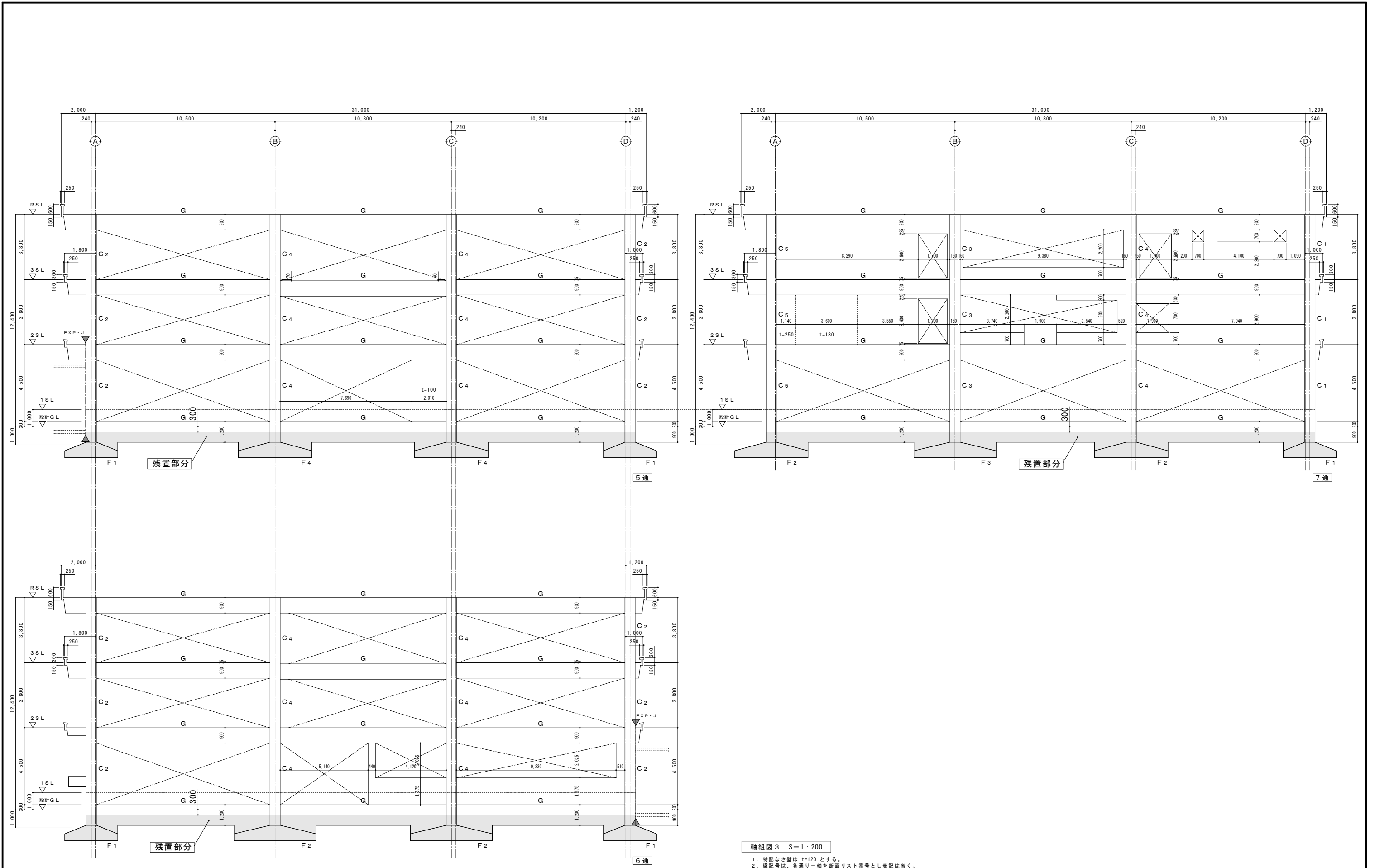



軸組図1 S=1:200
1. 特記なき壁は t=120 とする。
2. 梁記号は、各通り一軸を断面リスト番号とし表記は省く。



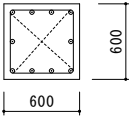
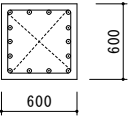
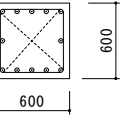
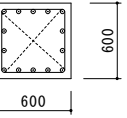
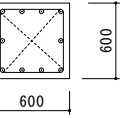
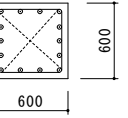
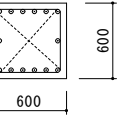
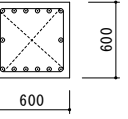
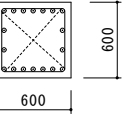
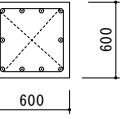
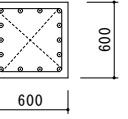
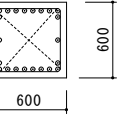
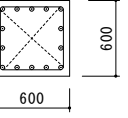
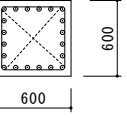
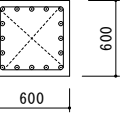
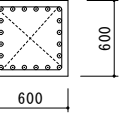
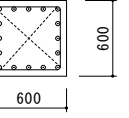
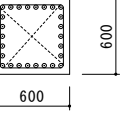
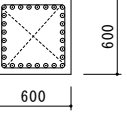
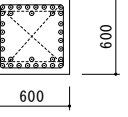
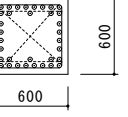
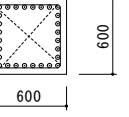
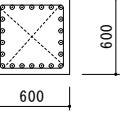
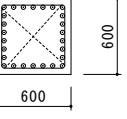
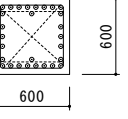
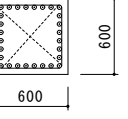
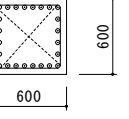
軸組図 2 S=1:200
1. 特記なき壁は t=120 とする。
2. 床記号は、各通り一軸を断面リスト番号とし表記は省く。

| | | | | | | | | | | | | |
|-----------|--|--|--|--|---|----------------------|----------------------------------|---|----------------------------|----------------------------|-------------------|------------|
| 備 考 | | | | |  有 限 会 社 サ ク ラ イ 設 計 新 潟 県 魚 沼 市 小 出 島 1 2 0 9 番 地 1 6 (小 出 東 町) 一 級 建 築 士 事 務 所 登 録 (旧) 第 1 9 2 5 号 TEL 025-792-3586 ・ FAX 792-9990 一 級 建 築 士 登 録 第 2 1 2 3 5 5 号 管 理 建 築 士 浅 井 守 人 | 設計者等 氏名 五十嵐正充 | 建築士登録番号等 一級建築士登録 第129518号 | 印 | 工事名称 旧入広瀬中学校等解体撤去工事 | 年月日 2 0 2 5 . 1 1 | 図面番号 AK-O5 | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| 軸組図2(校舎棟) | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | 縮 尺 | 1/200 | 意 電 (機) |



| | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|--|--|--|--|---|------------------|------------------------------|---|------------------------|-----------------|---------------|--|--|--|--|
| 備 考 | | | | |  有 限 会 社 サ ク ラ イ 設 計 新 潟 県 魚 沼 市 小 出 島 1 2 0 9 番 地 1 6 (小 出 東 町) 一 級 建 築 士 事 務 所 登 録 (Ⅰ) 第 1 9 2 5 号 TEL 025-792-3586・FAX 792-9990 一 級 建 築 士 登 録 第 2 1 2 3 5 5 号 管 理 建 築 士 浅 井 守 人 | 設計者等 氏名 五十嵐正充 | 建築士登録番号等 一級建築士登録 第129518号 | 印 | 工事名称 旧入広瀬中学校等解体撤去工事 | 年月日 2025. 11 | 図面番号 AK-06 | | | | |
| | | | | | | | | | 図面名称 軸組図3(校舎棟) | 縮 尺 1/200 | 意 電 (特) 機 | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |

柱断面リスト S=1:60

| 階 | 柱 名 | C ₁ | C ₂ | C ₃ | C ₄ | C ₅ |
|----|------|---|---|---|--|---|
| PH | 断 面 | | |  |  | |
| | 主 筋 | | | 10－25φ | 14－25φ | |
| | HOOP | | | 13φ□@100 | 13φ□@100 | |
| 3 | 柱頭断面 |  |  |  |  |  |
| | 主 筋 | 12－25φ | 14－25φ | 10－25φ | 14－25φ | 14－25φ |
| | HOOP | 13φ□@100 | 13φ□@100 | 13φ□@100 | 13φ□@100 | 13φ□@100 |
| | 柱脚断面 |  |  |  |  |  |
| | 主 筋 | 14－25φ | 18－25φ | 10－25φ | 14－25φ | 22－25φ |
| | HOOP | 13φ□@100 | 13φ□@100 | 13φ□@100 | 13φ□@100 | 13φ□@100 |
| 2 | 断 面 |  |  |  |  |  |
| | 主 筋 | 14－25φ | 20－25φ | 16－25φ | 20－25φ | 16－25φ |
| | HOOP | 13φ□@100 | 13φ□@100 | 13φ□@100 | 13φ□@100 | 13φ□@100 |
| 1 | 柱頭断面 |  |  |  |  |  |
| | 主 筋 | 26－25φ | 28－25φ | 34－25φ | 34－25φ | 28－25φ |
| | HOOP | 13φ□@100 | 13φ□@100 | 13φ□@100 | 13φ□@100 | 13φ□@100 |
| | 柱脚断面 |  |  |  |  |  |
| | 主 筋 | 22－25φ | 26－25φ | 28－25φ | 28－25φ | 24－25φ |
| | HOOP | 13φ□@100 | 13φ□@100 | 13φ□@100 | 13φ□@100 | 13φ□@100 |

- 共通事項
- 柱頭・柱脚2D外のHOOPは13φ□@150とする。
 - D・HOOPは9φ×@900とする。

梁断面リスト1 S=1:60

| 梁 名 | | A・D 通 | | | | | | B・C 通 | | | | | | | | | | | |
|-------|--|------------------------------------|--|--|------------------------------------|--|--|------------------|--|--|------------------------------------|--|--|------------------------------------|--|--|------------------|--|--|
| | | G ₁₋₂ ・G ₄₋₇ | | | G ₂₋₃ ・G ₅₋₆ | | | G ₃₋₄ | | | G ₁₋₂ ・G ₄₋₇ | | | G ₂₋₃ ・G ₅₋₆ | | | G ₃₋₄ | | |
| 位 置 | | 1・7 端 中 央 2・6 端 | | | 2・18 端 中 央 3・17 端 | | | 端 部 中 央 | | | 1・7 端 中 央 2・6 端 | | | 2・18 端 中 央 3・17 端 | | | 端 部 中 央 | | |
| P H 階 | | | | | | | | | | | ※ G ₁₋₂ のみ | | | | | | | | |
| 上 端 筋 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 下 端 筋 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| S T P | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R 階 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 上 端 筋 | | 5-25φ 2-25φ 5-25φ | | | 4-25φ 2-25φ 4-25φ | | | 4-25φ 2-25φ | | | 6-25φ 2-25φ 5-25φ | | | 4-25φ 2-25φ 4-25φ | | | 4-25φ 2-25φ | | |
| 下 端 筋 | | 3-25φ 2-25φ 3-25φ | | | 2-25φ 2-25φ 2-25φ | | | 2-25φ 2-25φ | | | 3-25φ 2-25φ 3-25φ | | | 2-25φ 2-25φ 2-25φ | | | 2-25φ 2-25φ | | |
| S T P | | 13φ□@300 | | | 13φ□@300 | | | 13φ□@300 | | | 13φ□@300 | | | 13φ□@300 | | | 13φ□@300 | | |
| 3 階 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 上 端 筋 | | 7-25φ 2-25φ 7-25φ | | | 5-25φ 2-25φ 5-25φ | | | 5-25φ 2-25φ | | | 8-25φ 2-25φ 6-25φ | | | 6-25φ 2-25φ 6-25φ | | | 6-25φ 2-25φ | | |
| 下 端 筋 | | 5-25φ 2-25φ 5-25φ | | | 4-25φ 2-25φ 4-25φ | | | 4-25φ 2-25φ | | | 6-25φ 2-25φ 5-25φ | | | 5-25φ 3-25φ 5-25φ | | | 5-25φ 3-25φ | | |
| S T P | | 13φ□@150 | | | 13φ□@300 | | | 13φ□@300 | | | 13φ□@150 | | | 13φ□@200 | | | 13φ□@200 | | |
| 2 階 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 上 端 筋 | | 11-25φ 2-25φ 8-25φ | | | 8-25φ 2-25φ 7-25φ | | | 7-25φ 2-25φ | | | 11-25φ 2-25φ 8-25φ | | | 8-25φ 2-25φ 8-25φ | | | 8-25φ 2-25φ | | |
| 下 端 筋 | | 9-25φ 3-25φ 6-25φ | | | 6-25φ 3-25φ 6-25φ | | | 6-25φ 3-25φ | | | 10-25φ 3-25φ 7-25φ | | | 7-25φ 3-25φ 7-25φ | | | 7-25φ 3-25φ | | |
| S T P | | 16φ□@150 | | | 13φ□@100 | | | 13φ□@150 | | | 13φ□@100 | | | 13φ□@100 | | | 13φ□@100 | | |
| F 階 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 上 端 筋 | | 6-25φ 5-25φ 5-25φ | | | 5-25φ 5-25φ 5-25φ | | | 5-25φ 5-25φ | | | 7-25φ 5-25φ 5-25φ | | | 5-25φ 5-25φ 5-25φ | | | 5-25φ 5-25φ | | |
| 下 端 筋 | | 6-25φ 5-25φ 5-25φ | | | 5-25φ 5-25φ 5-25φ | | | 5-25φ 5-25φ | | | 7-25φ 5-25φ 5-25φ | | | 5-25φ 5-25φ 5-25φ | | | 5-25φ 5-25φ | | |
| S T P | | 13φ□@250 | | | 13φ□@250 | | | 13φ□@250 | | | 13φ□@250 | | | 13φ□@250 | | | 13φ□@250 | | |

共通事項
1. 腹筋 は 2-9φ とする。
2. 巾止め筋は 9φ@900 or 1,000 とする。

- 共通事項
1. 腹筋 は 2-9φ とする。
 2. 巾止め筋は 9φ@900 or 1,000 とする。

梁断面リスト2 S=1:60

| 梁 名 | 1 通 | | | 2・3・4・5・6 通 | | | 7 通 | | | | | |
|-------|------------------------------------|-------|--------|------------------|-------|--------|------------------------------------|-------|--------|------------------|-------|--------|
| | G _{A-D} ・G _{C-D} | | | G _{B-C} | | | G _{A-D} ・G _{C-D} | | | G _{B-C} | | |
| 位 置 | A・D端 | 中 央 | B・C端 | B 端 | 中 央 | C 端 | A・D端 | 中 央 | B・C端 | B 端 | 中 央 | C 端 |
| P H 階 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| 上端筋 | | | | 7－25φ | 2－25φ | 7－25φ | | | | 11－25φ | 4－25φ | 11－25φ |
| 下端筋 | | | | 4－25φ | 3－25φ | 4－25φ | | | | 11－25φ | 4－25φ | 11－25φ |
| S T P | | | | 13φ□@300 | | | | | | 13φ□@250 | | |
| R 階 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| 上端筋 | 5－25φ | 4－25φ | 9－25φ | 8－25φ | 2－25φ | 8－25φ | 6－25φ | 4－25φ | 12－25φ | 12－25φ | 4－25φ | 12－25φ |
| 下端筋 | 3－25φ | 6－25φ | 6－25φ | 5－25φ | 4－25φ | 5－25φ | 6－25φ | 8－25φ | 12－25φ | 12－25φ | 6－25φ | 12－25φ |
| S T P | 13φ□@200 | | | 13φ□@200 | | | 13φ□@100 | | | 13φ□@150 | | |
| 3 階 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| 上端筋 | 8－25φ | 3－25φ | 8－25φ | 8－25φ | 2－25φ | 8－25φ | 11－25φ | 2－25φ | 10－25φ | 10－25φ | 2－25φ | 10－25φ |
| 下端筋 | 4－25φ | 5－25φ | 4－25φ | 4－25φ | 4－25φ | 4－25φ | 6－25φ | 4－25φ | 5－25φ | 5－25φ | 4－25φ | 5－25φ |
| S T P | 13φ□@250 | | | 13φ□@250 | | | 13φ□@250 | | | 13φ□@250 | | |
| 2 階 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| 上端筋 | 11－25φ | 3－25φ | 11－25φ | 10－25φ | 2－25φ | 10－25φ | 8－25φ | 2－25φ | 8－25φ | 7－25φ | 2－25φ | 7－25φ |
| 下端筋 | 6－25φ | 4－25φ | 4－25φ | 5－25φ | 4－25φ | 5－25φ | 4－25φ | 4－25φ | 4－25φ | 4－25φ | 4－25φ | 4－25φ |
| S T P | 13φ□@200 | | | 13φ□@250 | | | 13φ□@250 | | | 13φ□@250 | | |
| F 階 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| 上端筋 | 6－25φ | 5－25φ | 6－25φ | 5－25φ | 5－25φ | 5－25φ | 6－25φ | 5－25φ | 6－25φ | 5－25φ | 5－25φ | 5－25φ |
| 下端筋 | 6－25φ | 5－25φ | 6－25φ | 5－25φ | 5－25φ | 5－25φ | 6－25φ | 5－25φ | 6－25φ | 5－25φ | 5－25φ | 5－25φ |
| S T P | 13φ□@250 | | | 13φ□@250 | | | 13φ□@250 | | | 13φ□@250 | | |

共通事項
1. 腹筋 は 2－9φ とする。
2. 巾止め筋は 9φ@900 or 1,000 とする。

共通事項
1. 腹筋 は 2-9φ とする。
2. 巾止め筋は 9φ@900 or 1,000 とする。